

4-1-4 施工監理計画

日本国政府の無償資金協力の枠組みに従い、日本法人コンサルタント会社は、「エ」国側責任・実施機関である保健省／国立衛生熱帯医学研究所とコンサルタント契約を締結し、本計画の詳細設計業務、入札関連業務及び施工監理業務を行う。これらの業務目的は、事業実施工程、内容が設計図書に沿って実施されているか否かを確認し、機材供給契約内容の適正な履行を確保するために公正な立場にたち、施工期間における機材供給業者への指導、助言、調整を行い、品質向上を図ることにある。コンサルタントは、施工監理業務を遂行するにあたり、機材の搬入・据え付け及び技術研修期間の全工程の間に、施工監督者を現地に派遣しスポット監理体制とする。

施工監督者は、一般理化学検査機材関連、ワクチン製造機器関連、水処理関連、電子顕微鏡関連等の専門技術者とし、機材の据え付け工程に合わせ指導・調整、監理、検査に携わらせる。これら専門技術者は、機材を熟知しているとともに本計画内容を十分把握したうえで、施工監理業務にあたる。また、日本国政府関係機関に対し本計画の進捗状況、支払手続、引き渡し等に関する必要諸事項の報告を行う。

施工監理業務は以下のとおりである。

1. 入札および業者契約関連業務

機材供給及び据え付け工事等に係る日本の供給業者選定のための入札に必要な入札図書を作成し、入札公示、入札参加申請の受理、資格審査、入札図書の配布、入札、入札結果・評価報告等の一連の入札業務を行うとともに、「エ」国保健省／国立衛生熱帯医学研究所と供給業者との間の機材供給等に係る業者契約締結に係る助言を行う。

2. 機材供給業者に対する指導、助言、調整

事業実施工程、施工計画、機材供給計画、機材据え付け計画等の検討を行い、機材供給業者に対する指導、助言、調整を行う。

3. 製作図、施工図等の検査および承認

機材供給業者から提出される供給機材に係る製作図、施工図、その他書類等の検査、指導を行い、承認を与える。

4. 調達機材の確認および承認

機材供給会社が供給する機材と契約図書（調達機材を含む）との整合性を確認し、その採用に対する承認を与える。

5. 工場検査

必要に応じて機材の製造工場における検査に立会い、品質・性能の確保にあたる。

6. 事業実施工程に係る進捗状況の報告

作業工程と作業現場の状況を把握し、事業実施工程に係る進捗状況を両国関係機関に報告する。

7. 機材の試運転及び竣工検査

機材及び設備の試運転並びに竣工検査を行い、契約図書内容に合致していることを確認し、検査完了書を「エ」国側に提出する。

8. 操作、維持管理技術研修に対する指導

計画機材には、操作および維持管理上の技術的知識を必要とするものがあるため、据え付け、調整、試運転期間中に各課・室の担当者に対して操作方法、点検方法、修理技術等を習得してもらうための技術研修を実施する必要があり、コンサルタントはこれに関して指導、助言を与える。

コンサルタントは上記の業務を遂行するにあたり、本計画の規模・内容から判断して、機材の搬入・据え付け及び技術研修期間の工程を通し技術者を派遣する必要があり、技術者を現場に配置し指導・調整、監理、検査に携わらせるとともに、日本国内側にも担当技術者を配置し、現地との連絡業務及びバックアップ体制を確立する。また、日本国政府関係機関に対し本計画の進捗状況、支払手続、引き渡し等に関する必要諸事項の報告を行う。

4-1-5 資機材調達計画

1. 日本調達/第三国製品の可能性

「エ」国においては過去、日本の「プロジェクト方式技術協力」の供与により日本製品が多く、現地サイド購入機材においては、米国製品が多い。試薬、消耗品、スペアパーツ等の入手については、PAHOの協力があるため、ワシントンにあるPAHOの登録業者から入手されている。そのため、多くの日本製品及び米国製品機材の消耗品、スペアパーツの入手は困難ではない。機材調達にあたっては原則として現地に営業所や代理店等をもつ製造業者の製品であり、据え付けは確実に、納品後はしっかりとアフター・サービスが可能な機材を選定することを基本とする。

多くの要請機材は、現有機材の更新であるため現有機材の仕様、性能に合った選定を行う必要がある。そのため、特に現有機材が日本製品である機材については、現地技術者の希望を踏まえて日本調達を考慮する。日本製品以外の採用にあたっては価格が安いという理由だけではなく、将来の維持管理及び「エ」国の技術力等を勘案して決定すべきである。「エ」国における調達の難易度、修理・アフターサービス体制（スペアパーツ、消耗品の入手を含む）、普及度等が日本製品以外の機材を調達する場合の主な要素である。

2. 修理・保守サービス体制

本研究所は維持管理課を有し、冷蔵機器、ボイラー、ブリキ、自動車、木工、電気機器、溶接の専門技師32人が日常の機材の維持管理を行っている。ボイラー関係機材、冷蔵機器（冷蔵庫、冷凍庫、エアコンディショナー等）については、本研究所内の維持管理課で修理・保守サービスを行っており問題はない。また、本研究所は沿岸地方理工科大学と相互協力関係にあり、大学側が本研究所の施設機材を利用する一方、大学の技術者が研究所の機材の整備、補修、点検を常時行っているため、一般的な機材については保守管理の問題は少ない。しかし、特殊な検査機器、電子顕微鏡などは機材の性格上、業者の協力体勢が不可欠であり、現地代理店を有効に利用することが望ましい。

3. 輸送機関

日本から調達される機材については、海上輸送に約4週間、第三国（米国及び欧州）からの調達は2～4週間、輸入通関に約1週間、さらに国内輸送に約1～2日と、計7～9週間に要するため、時間的に十分に余裕をもった調達計画を策定する。

4-1-6 実施工程

本計画の実施に係る交換公文が日本国および「エ」国の両国間で締結された場合、以後の事業実施工程は、次に示す詳細設計業務、入札関連業務、機材調達／施工監理業務の3段階に分けられる。

1. 詳細設計業務

「エ」国政府を代表する保健省と日本法人コンサルタントとの間で、コンサルタント契約が締結された後、契約書の日本政府による認証を経て、コンサルタントは詳細設計を開始する。詳細設計では詳細設計図、仕様書、機材供給業者契約書（案）及び調達機材仕様書を含む入札条件書等の入札図書一式が作成される。この間「エ」国側と施設、機材内容に関する協議を行い、最終的に入札図書一式の承認を「エ」国側から得るものとする。詳細設計業務の所要期間は、現地詳細設計、国内作業、入札図書承認等で約3ヵ月と予想される。

2. 入札関連業務

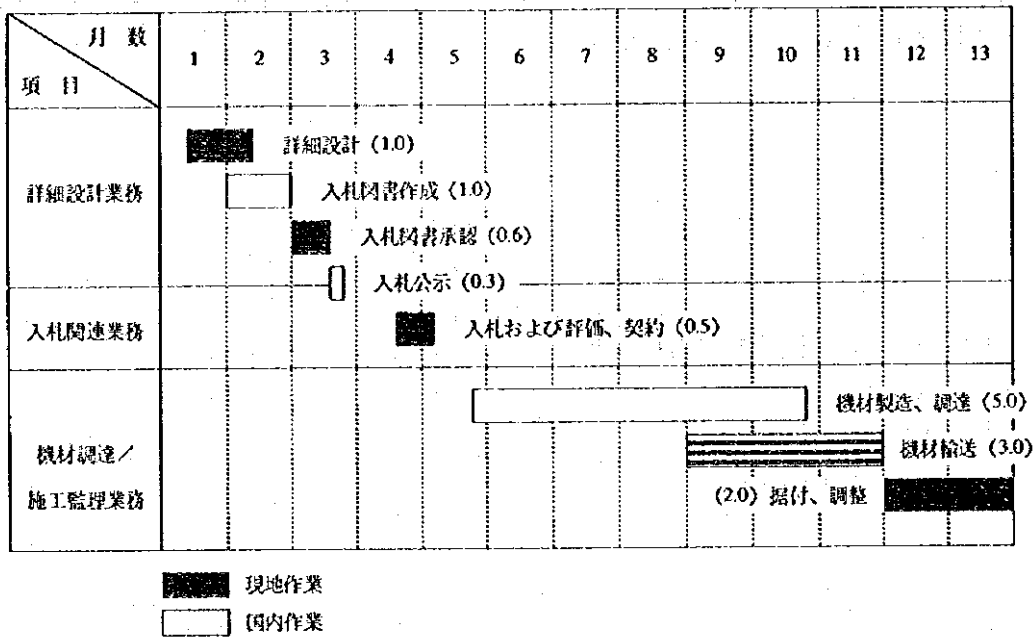
機材供給の請負業者は入札によって選定される。入札は入札公示、入札参加申請の受理、資格審査、入札図書配布、入札、入札結果報告、入札評価報告、機材供給業者指名、機材供給の契約の順に行われ、この間約1.5ヵ月を要する。

3. 機材調達／施工監理業務

業務契約締結後、日本国政府による契約書の認証を経て契約業務を開始する。本計画対象施設の内容、規模、現状、気候条件及び計画機材の内容等を考慮して工期を試算した結果、今回の工期は約9ヵ月である。

交換公文締結後、竣工に至るまでの事業実施工程は、次に示すとおりである。

表4-1 事業実施工程表



4-1-7 相手国側負担事項

日本の無償資金協力が実施される場合「エ」国政府が行う措置として以下のことが確約された。

1. 本計画に必要なデータや情報を提供すること。
2. 本計画の実施期間中、一時的事務所として使用する場所を研究所の敷地内に提供すること。
3. 本計画に必要な周辺基盤（電気、給排水、その他の施設）について機材の据え付けまでに整備提供し、新機材を設置する場所に現在あるものを撤去すること。
4. 本計画のために輸入される機材について、速やか陸揚げ、通関「エ」国内の運送に必要な便宜を供与すること。
5. 本計画の実施の為に、「エ」国に滞在する日本国民に対し関税及び賦課税の支払いを免除すること。
6. 日本国民による本計画の実施に必要な機材の持ち込み及び役務の供与に関し、「エ」国における滞在に必要な便宜を供与し、安全を確保すること。
7. 銀行取り決め（B/A）に従った、日本の外国為替銀行への銀行手数料の支払いをすること。
8. 本計画の実施が効果的に進むために必要とされる予算、人材（無償資金協力で供与される機材のO/M コストを含む）を配置すること。
9. 無償資金協力で購入した機材を適切かつ効果的に使用し維持管理すること。
10. 本計画で無償資金協力で供与される以外の支出を負担すること。
11. ワクチン製造及び品質管理に関してPAHO/WHOの技術指導及び支援を受けPAHO/WHOの示す基準を全て満たす品質の製品をつくること。
12. 日本政府がBCG関連機材の供与を決定した場合、その区域の内壁の塗装が必要となるが、それをエクアドル政府の負担で行い、改修は機材の到着までに終えていること。
13. 既存リフトの撤去をエクアドル側の負担で行い、撤去は機材の到着までに終えていること。
14. 供与された機材の有効な利用と維持のため研究所は機材の運営維持管理に必要な経費を毎年予算として計上すること。

4-2 概算事業費

4-2-1 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約1,092.7百万円となり、積算条件により次の通り見積もられる。また、本計画の実施に伴い必要となる「エ」国側負担経費は以下の通り見積もられる。

(1) 日本側負担経費

事業費内訳

1.	機材費	1,039.9百万円
2.	設計監理費	52.8百万円
	合計金額	1,092.7百万円

(2) 「エ」国側負担経費 65百万 スクレ (約220万円)

内 訳

1.	BCGワクチン無菌室の内部塗装費用	11.4百万 スクレ	(約38.5万円)
2.	ワクチン棟の現有リフトの撤去費用	17.9百万 スクレ	(約60.5万円)
3.	ワクチン棟のスチーム配管補修費用	9.8百万 スクレ	(約33.0万円)
4.	機材搬入の際の建物取壊・改修費用	14.6百万 スクレ	(約49.5万円)
5.	電気水道等引込費用	8.1百万 スクレ	(約27.5万円)
6.	その他	3.3百万 スクレ	(約11.0万円)

(3) 積算条件

1. 積算時点：平成9年1月
2. 為替交換レート
円／米ドル換算レート：1米ドル=110円とした。
円／スクレ換算レート：1スクレ=0.033846円とした。
3. 機材製造・調達／施工期間：約9ヵ月（事業実施工程表に示した通り。）
4. その他

日本国政府の無償資金協力の枠組みに従い、機材に対する輸入関税、日本法人にかかる事業税、付加価値税等「エ」国における国内税が免除される。あるいは「エ」国政府により支払われることを前提とする。

また、「エ」国側は手数料負担、税負担として次の費用を見込む必要がある。

- ① 機材納入に必要な公的手続費用
- ② 資機材輸入にかかる関税
- ③ 銀行取極（B/A）手数料及び支払授權書（A/P）発行手数料
- ④ 国内税、その他の財政課徴金に対する免税手数費用及び付加価値税支払いの必要経費

本計画が円滑に実施され、また機材据え付け後ただちに有効活用されるよう、「エ」国政府は適切な時期に、これらの項目につき予算措置及び工事を行うことが必要である。

4-2-2 運営維持・管理費

本計画において整備される機材は、既存機材が老朽化したために更新する機材が主体であり、維持管理の負担軽減を考慮したものになっている。しかし、現在の維持管理体制の問題点を改善するため、以下のような効果的な維持管理体制を構築する必要がある。

(1) スペアパーツ、消耗品の供給体制

機材の維持に必要な交換部品、消耗品については、機材供給業者の保証期間終了後、機材の更新時期となる最低7年間は有償にて供給することを義務付けた内容とする。また、使用頻度の高い交換部品及び消耗品については、あらかじめ見積書を保健省に提出させ、保健省は交換部品及び消耗品の購入費用を試算し、予算措置を講じておくこととする。

スペアパーツ、消耗品等の入手については、PAHOの協力があるため、ワシントンにあるPAHOの登録業者から入手できる。そのため、多くの日本製品及び米国製品を含む機材の消耗品、スペアパーツの入手は困難ではない。

(2) 保守管理要員の養成

本研究所は湾岸地方理工科大学（ESPOL）と相互協力関係にあり、大学側が本研究所の施設機材を利用する一方、大学の技術者が研究所の機材の整備、補修、点検を常時行っているため、一般的な機材については保守管理の問題は少ない。また、同大学の医療電子科は、医療機材保守管理技術者を育成しており、医療施設や現地代理店等で活躍している。

(3) 維持管理計画の策定

本研究所は維持管理課を有し、冷蔵機器、ボイラー、ブリキ、自動車、木工、電気機器、溶接の専門技師32人が日常の機材の維持管理を行っている。ボイラー関係機材、冷蔵機器（冷蔵庫、冷凍庫、エアコンディショナー等）については、本研究所内の維持管理課で修理・保守サービスを行っており問題はない。しかし、特殊な検査機器、電子顕微鏡などは機材の性格上、業者の協力体勢が不可欠であり、現地代理店を有効に利用することが望ましい。

(4)維持管理費

本計画による維持管理費は、スペアパーツ・消耗品等の定期購入が必要な主要機材に対して維持管理費を算出した。但し、各機材のメーカー見積もり書の価格（日本調達の査定後価格）を参考に、本計画の実施により増額が見込まれる品目を記載した。算出された維持管理費及び追加要員数・技術力は以下の通りである。

年間維持管理費 4,108.9 (千円) / 年 (US\$37,353.-)

<主な内訳> (千円単位)

Item No.	機材名	価格	内訳
3-29	原子吸光分光光度計	166.6	ガラス付属チューブ、重水素ラジウム、記録紙等
4-8	高速液体カラムグラフ	191.1	タンクステンラジウム、重水素ラジウム、フィルター、検出器ラジウム、記録紙等
7-3	電子顕微鏡、透過式	611.0	フィルム、アセット、スプレッドシート等
7-4	電子顕微鏡、走査式	488.0	フィルム、アセット、スプレッドシート等
14-6	セーフティーキャビネット	128.8	排気用HEPAフィルター、循環用HEPAフィルター
15-11A	焼却炉、小動物焼却用	50.0	燃料代（ディーゼル）
15-11B	焼却炉、医療廃棄物用	150.0	燃料代（ディーゼル）
22-7	セーフティーキャビネット	128.8	排気用HEPAフィルター、循環用HEPAフィルター
28-10	水処理システム	600.0	カーボンフィルター、軟水フィルター、RO膜、蒸留器用フィルター、活性炭、UVラジウム等
28-4A	クリーンブース	300.4	HEPAフィルター、プレフィルター、蛍光灯、セラミック等
	その他	1,294.6	

特定メーカーの検査用試薬が必要な機材は、本計画に含まれておらず現在使用されている試薬で対応可能である。基本的に現有機材の更新であり、検査件数（試薬購入費の増額）の増加は検査収入で補えるため、増額対象とはしない。また、ワクチン関連機材はワクチンの品質管理を強化するための周辺機材であるため、本質的な製法・製造量が変わるわけではないので、本計画対象機材による年間維持管理費の大幅な増額はない。

本計画により職員の安全性の強化、環境への配慮のために新たに追加された、焼却炉の燃料費やセーフティーキャビネット等フィルターの消耗品代は、次項の「プロジェクト臨時予算」にて、まかなえるものである。

(5) 本計画に必要な追加要員数・技術力

基本的に現有機材の更新であり、新たな追加要員及び技術力は必要ない。一部機材は、現有機材の更新ではないが、過去に現存していた機材及び研究所の技術者で操作可能な必要機材のため、新たな追加要員数・技術力は必要としない。

本計画により増額する維持管理費はUS\$37,353,- (1億2139万スクレ) であり、保健省からの本計画に対するプロジェクト推進費US\$61,538,- (2億スクレ) の60.7%であり、本研究所予算全体総額 (検査による収入を含む) の0.8%となる (1997年度)。

よって本計画が実施された場合の維持管理費の算出は十分に可能である。

以下に本年度までの収支を示す。

表4-4 研究所の予算

(単位: スクレ)

年度	保健省から研究所に対する配分			検査による収入	臨時予算プロジェクト	
	総額	人件費	維持管理費			
1994	10,500,000,000	6,000,000,000	4,500,000,000	420,908,000		
1995	17,000,000,000	10,000,000,000	7,000,000,000	445,652,000	4,000,000,000	(狂犬病対策)
1996*	10,700,000,000	4,900,000,000	5,800,000,000	未確定	4,000,000,000	(狂犬病対策)

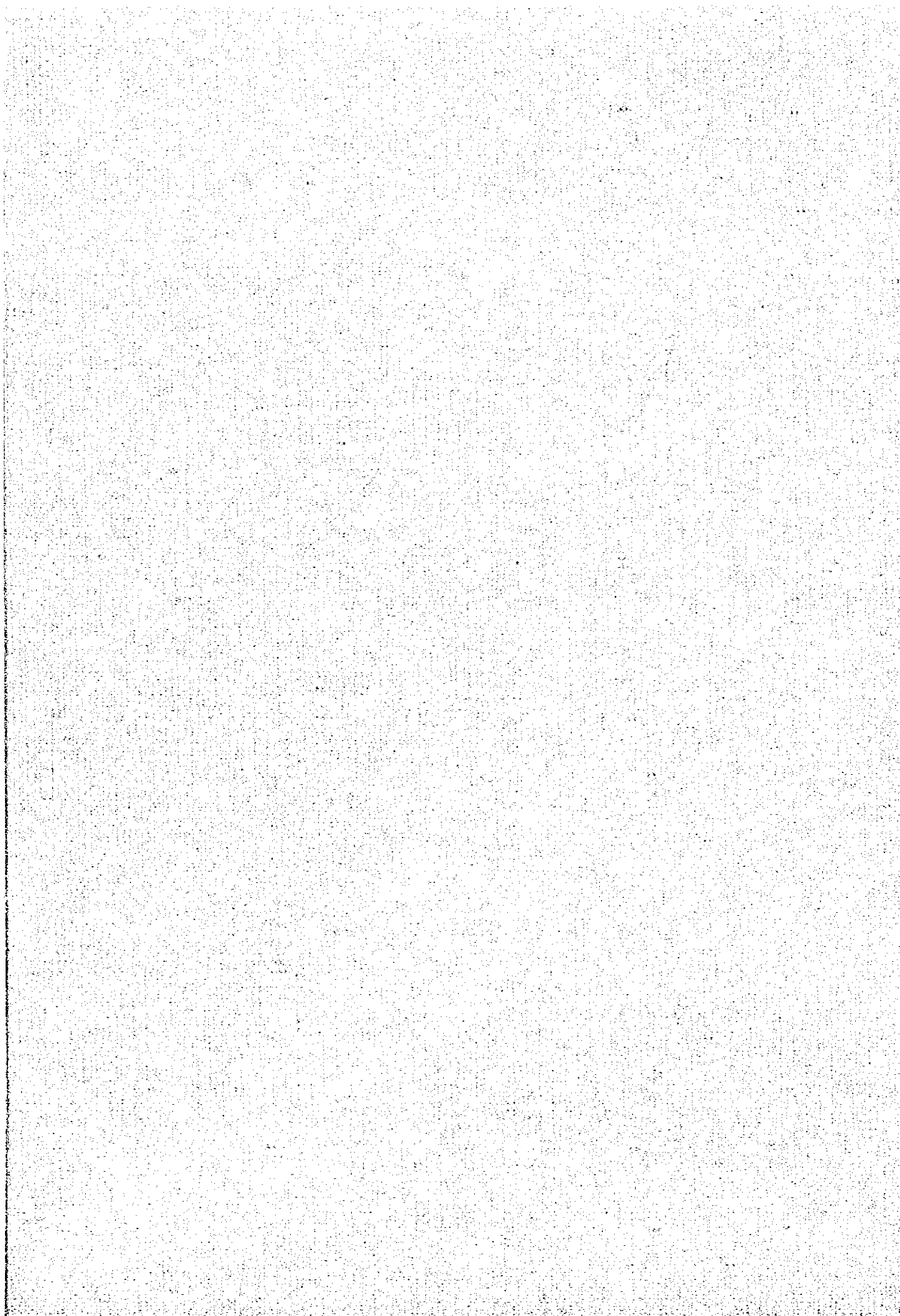
*は1996年度の予算執行分までの金額である。

表4-5 研究所の支出

(単位: スクレ)

項目	1992	1993	1994	1995	1996
人件費	3,813,509,000	5,235,080,000	9,464,149,000	19,357,072,000	11,205,865,000
消耗品/試薬	486,402,000	695,034,000	794,244,000	1,375,750,000	933,759,000
機材購入費	99,000,000				
機材補修費	23,800,000	20,480,000	36,400,000	46,500,000	34,350,000
施設修繕費	187,500,000	226,077,000	46,000,000	51,750,000	23,975,000
電気代	132,800,000	312,440,000	166,298,000	183,257,000	298,439,000
水道代			73,200,000	110,530,000	147,025,000
燃料費	34,362,000	41,234,000	50,658,000	58,542,000	93,743,000
通信費	9,400,000	13,780,000	82,895,000	57,779,000	118,046,000
事務用品/図書費	146,365,000	145,838,000	175,995,000	93,584,000	154,792,000
その他	115,780,000	164,000,000	31,069,000	78,888,000	51,907,000
合計	5,048,918,000	6,853,963,000	10,920,908,000	21,413,652,000	13,061,901,000

第5章 プロジェクトの評価と提言



第5章 プロジェクトの評価と提言

5-1 妥当性に係る実証・検証及び裨益効果

本計画の運営が、「エ」国政府により適切に実施された場合、以下の効果が期待できる。

(1) 本研究所の機能の強化・向上

感染症等の調査研究、水や食品などの安全検査の精度が高くなる。

- ・ 今まで十分出来なかった感染症の伝播経路等の調査作業が可能となり、調査・研究分野が拡大する。
- ・ 研究所内及び「エ」国内医療施設の検査データ管理（コントロール血清によるクオリティコントロール）を実施し、国内全体の検査レベルの向上に役立つ。
- ・ 中断していた検査を再開できる。（水質検査において重要なカドミウム、六価クロム、水銀、ヒ素等11項目の検査が可能となる。）
- ・ 製造中及び製造されたワクチンの力価、安全性の試験、化学分析等の試験の精度を高め、ワクチンの国家品質管理機能が強化される。
- ・ ワクチン運搬用保冷車の供与によりコールドチェーン輸送が強化され、品質管理の相乗効果がある。

(2) 予防接種用ワクチンの確保、品質の安定化

本計画は「エ」国内のワクチン生産量の全体をカバーする増産を目的とはせず、日本の「プロジェクト方式技術協力」が実施された生産量を確保することにある（最終年度（1984）の総生産量は4,522,710ワクチンに対し、1996年度総生産量は2,785,669ワクチンで1984年の約60%の生産量にまで落ちこんでいる）。

しかし、BCGについては現在基準値を満たす製品の生産がとまっているものが、基準値を満たす製品で国内重要の100%を確保することができるほか、DPTについては、現在国内需要の65%にとどまっているものが、80%を確保することが可能となる。また、人用狂犬病ワクチンについては、製法自体の問題から保健省に製法自体を変更する計画があるなどの理由のため、今回増産を目的とした機材配備はされていないが、周辺機材、研究機材の充実により、ワクチンの品質管理の為の機材や水、蒸気、滅菌装置など、ワクチン製造の周辺で必要な機材の整備により、品質の安定化をはかることができる。

5.2 技術協力・他ドナーとの連携

PAHO/WHOは本研究so所に対し、現在、HIV/エイズ人口プログラム及びEPIプログラムの技術援助と小規模な試薬の提供などの援助を行っている。また、ワシントン本部を通じて、ワシントンのPAHO/WHO登録業者に見積もりをとり、研究所で必要な消耗品、機材、機材のスペアパーツを安価で提供するなどの特許事業も行っている。ワクチンについては、ワクチン生産をしている7ヶ国でネットワークをつくり、コントロールデータの共有や、定期的に国際学会の開催を実施している。国際学会は年一回の割合で、中南米地域のワクチン製造所の技術向上・強化のために各国において技術協力を実施しており、過去に実施した国はアルゼンチン、ブラジル、コロンビア、キューバ、メキシコ、ベネズエラとチリである。1997年2月にメキシコで実施される予定である。プログラムの内容はワクチン品質の確立、品質のためのシステム、研究所内のバイオハザード、研究所の権限等の講習が実施されている。

PAHO/WHOは、本研究so所職員の技術レベルと研究所が中南米地域で果たしている疫病抑制機能を高く評価しているが、機材の不足による機能低下と技術移転の限界を問題視しており、本計画に対し大きな期待と関心を示し、本計画が実施された場合、ELIZAシステム等本計画で配備される機材を活用して、HIV/エイズ人口プログラムの拡充を計画したいとしている。

また、本研究so所が所在するグアヤキル市に新たに支部を開設し、特にワクチン製造・品質管理に対する技術援助を重点的に行いたいとして、本計画が実施された場合、必要な技術協力があれば、研究所長を通じ、全面的協力をしたいとしている。

また、計画機材に必要な消耗品、スペアパーツなども、前述のワシントンのPAHO/WHO本部の仲介により特許することで、機材の維持管理に対しても協力するとしている。

5-3 課題

本計画により前述のように多大な効果が期待されると同時に、本計画が低所得者層を中心とした多くの住民のBHNの向上に寄与するものであることから、本計画を無償資金協力で実施することの妥当性が確認される。さらに、本計画の運営・維持管理についても、「エ」国保健省からの本計画に対するプロジェクト推進費及び検査等による収入により充分に可能であり問題はないと考えられる。しかし、以下の点が改善・整備されれば、本計画はより円滑かつ効果的に実施しうるであろう。

(1) 「エ」国負担工事の円滑な実施について、日本国の無償資金協力の制度に関しては、すでに基本設計調査団により先方政府関係者に説明をおこなっているが、先方の負担工事の実施に当たって、適切な時期に予算措置をとられることが必要である。また、先方負担工事は、機材の振付工事着工以前に終了している必要がある。

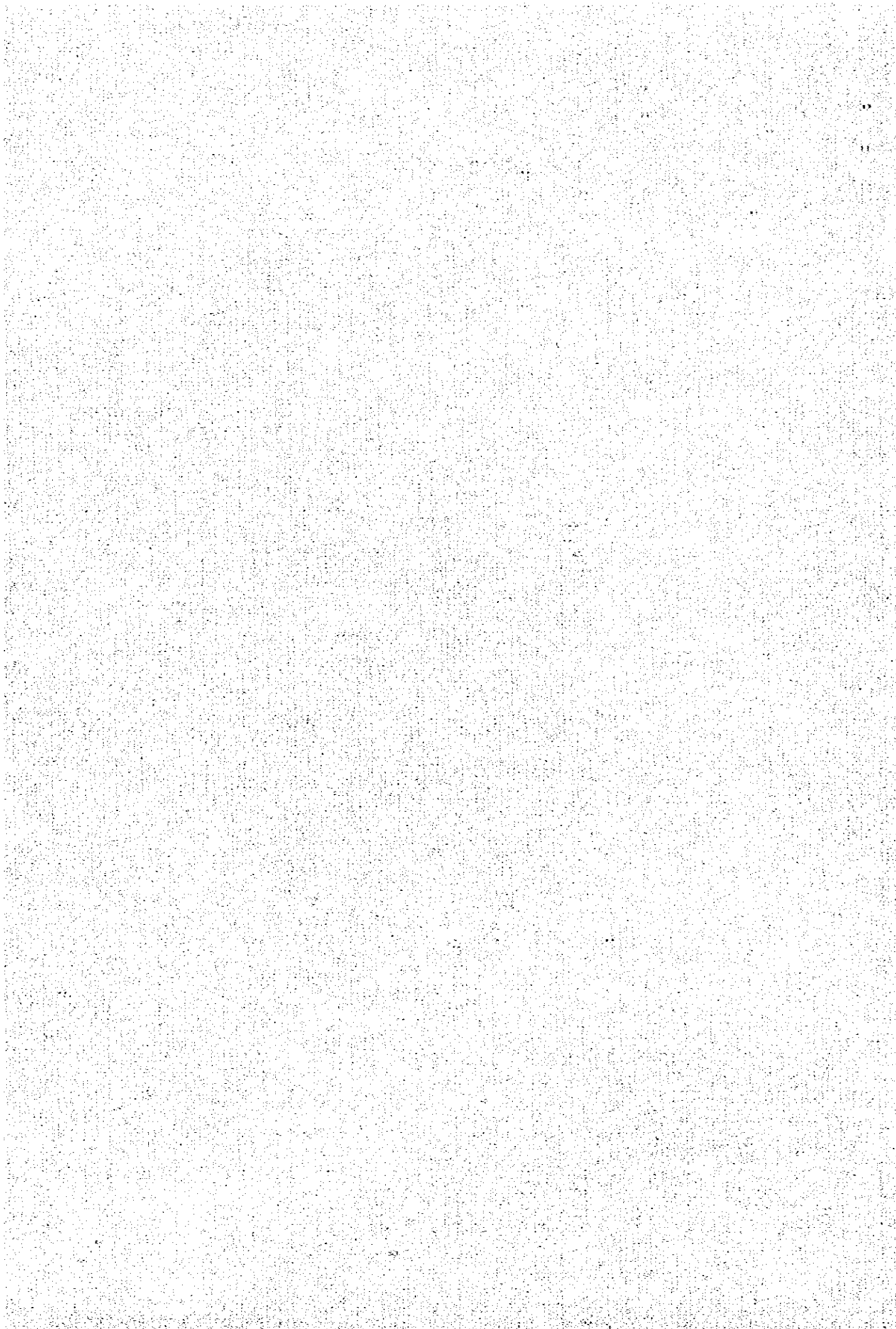
<「エ」国側負担工事分>

- ・ BCGワクチン室の無菌室化に係わる室内塗装
- ・ ワクチン棟の現有リフトの取りはずし作業
- ・ ワクチン棟のスチーム配管の修理
- ・ 機材搬入時に建物の一部取り壊しが、必要となった場合の取り壊し、及び修繕作業

(2) 地方研究所37ヶ所は本計画対象外であるが、約3年前より行われている世界銀行のプロジェクトFASBASE（エクアドル基礎保健事業強化拡大計画）の地方2次医療ネットワークの近代化計画の中核にあたり、「エ」国の保健医療行政の改革の上で、地方研究所37ヶ所の機材整備が極めて重要な課題となる。今後、地方研究所の整備が行われることにより、本研究所の機能のさらなる向上が予測される。

(3) ワクチン製造部門では各ワクチン共に、品質管理をさらに充実させる必要がある。特に本研究所の実験動物の管理体制は十分とは言えず、その改善には技術指導的要素、建築的要素が大きかったため、本計画には盛り込むことができなかった。ワクチン品質管理体制を充実し、今回の機材がより有機的に活用されるために、専門家の派遣等、技術協力を行うことが望ましい。

資料



1. 調査団員氏名、所属

[添付資料]

調査団員名簿

(1) 基本設計調査

団員名	担当業務	所 属
1 佐々木 豊	総括	国際協力事業団 北陸支部 支部長
2 千葉 喜美夫	技術参与	社団法人北里研究所 生物製剤研究所 管理部門渉外部
3 高橋 元秀	技術参与	国立予防衛生研究所 細菌・血液製剤部
4 矢部 優慈郎	計画管理	国際協力事業団 総務部 在外事務所課
5 佐藤 彰	業務主任 ／運営・維持管理計画	インターナショナルコンサルタンツ（株）
6 鈴木 寿明	機材計画（1） ／調達計画	インターナショナルコンサルタンツ（株）
7 三室 直樹	機材計画（2）	インターナショナルコンサルタンツ（株）
8 那須 光弘	設備計画	インターナショナルコンサルタンツ（株）
9 清田 しょう子	通訳	インターナショナルコンサルタンツ（株）

(2) 基本設計概要説明調査

1 佐々木 豊	総括	国際協力事業団 北陸支部 支部長
2 高橋 元秀	技術参与	国立予防衛生研究所 細菌・血液製剤部
3 中村 博	計画管理	国際協力事業団 無償資金協力調査部 調査第一課
4 佐藤 彰	業務主任 ／運営・維持管理計画	インターナショナルコンサルタンツ（株）
5 鈴木 寿明	機材計画（1） ／調達計画	インターナショナルコンサルタンツ（株）
6 清田 しょう子	通訳	インターナショナルコンサルタンツ（株）

2. 調査日程

[添付資料]

調査日程表

(1) 基本設計調査

日順	月	日	曜日	内 容
1	10月	12日	(土)	成田発(JL010)-シカゴ-(AA1702)-マイアミ泊 (計画管理のみ)成田発(JL064)-ロスアンジェルス泊
2	10月	13日	(日)	マイアミ-(AA967)-キト 到着:19:55 (計画管理のみ)ロスアンジェルス発(AA898)-マイアミ(AA967)-キト着
3	10月	14日	(月)	10:00 日本大使館表敬訪問 11:30 保健省表敬訪問/インセプションレポート及び無償資金協力の制度 の説明、質問書の提出(移動:キト-(EH831)-グアヤキル)
4	10月	15日	(火)	8:30 国立衛生熱帯医学研究所(INHMT)表敬訪問、インセプションレポート ・質問書の提出、無償資金協力制度の説明 12:00 INHMT調査
5	10月	16日	(水)	9:00 INHMT調査・協議
6	10月	17日	(木)	8:00 INHMT調査 13:00 INHMTミニッツ協議
7	10月	18日	(金)	10:30 野口英世生誕120周年記念式典/ミニッツ署名
8	10月	19日	(土)	(両技術参与、機材計画2)9:00 INHMT調査(ワクチン製造課) (上記3名を除く6名)10:00 イカサ・ブスタマンテ小児病院調査
9	10月	20日	(日)	(総括、千葉技術参与、計画管理の3名)グアヤキル発-(EH088)-キト (高橋技術参与)グアヤキル発-ニューヨーク泊 (コンサル4名)団内打ち合わせ、資料整理
10	10月	21日	(月)	(総括、千葉技術参与、計画管理、通訳の4名)保健省、日本大使館への報告 (高橋技術参与)ニューヨーク-(JL005)-機中泊 (コンサル4名)9:00 INHMT調査・協議 (通訳)グアヤキル発-(EH088)-キト-(EH831)-グアヤキル
11	10月	22日	(火)	(総括、千葉技術参与、計画管理の3名)キト発(AA966)-マイアミ- -(AA2152)-ニューヨーク泊 (高橋技術参与)→成田到着 (コンサル4名及び通訳)9:00 INHMT調査・協議

[添付資料]

調査日程表

(1) 基本設計調査

日順	月	日	曜日	内 容
12	10月	23日	(水)	(総括、千葉技術参与、計画管理の3名) ニューヨーク発-(JL005)- 機中泊 (機材計画1/調達計画を除く4名) 9:00 INHMT調査・協議 (機材計画1/調達計画:鈴木) 9:00 代理店調査
13	10月	24日	(木)	(総括、千葉技術参与、計画管理の3名) 成田到着 (機材計画1/調達計画を除く4名) 9:00 INHMT調査・協議 (機材計画1/調達計画:鈴木) 9:00 輸送経路調査
14	10月	25日	(金)	(業務主任、機材計画1/調達計画) グアヤキル発-(EH088)- キト CONADE、世銀、PAHO、USAIDの調査・協議 (機材2、設備、通訳) 9:00 湾岸地方理工科大学調査 11:00 感染症病院調査 13:00 INHMT調査・協議
15	10月	26日	(土)	(業務主任、機材計画1/調達計画) 類似施設の調査(キト支所研究所) 代理店調査 (機材2、設備、通訳) 9:00 INHMT調査・協議
16	10月	27日	(日)	(業務主任) 資料整理 (機材計画1/調達計画) キト発-(AA932)- マイアミ (機材2、設備、通訳) グアヤキル発-(EH088)- キト
17	10月	28日	(月)	(機材計画1/調達計画を除く4名) 9:00 保健省調査・協議(質問書の回答) 12:00 キト支所研究所調査・協議 (機材計画1/調達計画) 9:00 代理店調査(マイアミ)
18	10月	29日	(火)	(機材計画1/調達計画を除く4名) 10:00 日本大使館への報告 11:00 保健省への報告 (機材計画1/調達計画) 9:00 代理店調査(マイアミ)
19	10月	30日	(水)	(機材計画1/調達計画を除く4名) キト発-(AA932)- マイアミ・ (AA2152)- ニューヨーク泊 (機材計画1/調達計画) マイアミ発-(AA2152)- ニューヨーク泊
20	10月	31日	(木)	(コンサル4名、通訳1名全員) ニューヨーク発-(JL005)- 機中泊
21	11月	1日	(金)	(コンサル4名、通訳1名全員) 成田到着

[添付資料]

調査日程表

(2) 基本設計概要説明調査

日順	日付	時間	内容
(1)	1月11日(土)	12:00	出発：成田(12:00発) → ニューヨーク(10:15着) [JL006便]
(2)	1月12日(日)	12:30	ニューヨーク(12:30発) → マイアミ(15:20着) [AA1533便] マイアミ(16:50発) → キト(21:08着) [AA967便]
(3)	1月13日(月)	10:00	在「エ」国日本国大使館表敬、業務打合せ
		11:00	国家開発審議会表敬
		15:30	公衆保健省表敬
		17:30	キト(17:30発) → グアヤキル(18:15着) [EH105便]
(4)	1月14日(火)	09:00	国立衛生熱帯医学研究所表敬、サイト調査・協議
(5)	1月15日(水)	09:00	サイト調査・協議
(6)	1月16日(木)	09:00	サイト調査・協議
(7)	1月17日(金)	09:00	サイト調査・協議
(8)	1月18日(土)	08:15	グアヤキル(08:15発) → キト(09:00着) [EH828便]
(9)	1月19日(日)		団内打合せ、資料整理
(10)	1月20日(月)	09:30	公衆保健省にてミニッツ署名
		11:00	在「エ」国日本国大使館への報告
		12:00	PAHO/WHO訪問・協議
		16:00	世界銀行訪問・協議
(11)	1月21日(火)	08:45	キト(8:45発) → マイアミ(12:45着) [AA932便]
(12)	1月22日(水)	08:25	マイアミ(08:25発) → シカゴ(10:33着) [AA1783便] シカゴ(12:00発) → 機中泊 [JL009便]
(13)	1月23日(木)		→ 成田(16:10着)

3. 相手国関係者リスト

4. 当該国の社会・経済事情

[添付資料]

主要面談者リスト

(1) 基本設計調査

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | 在「エ」国日本国大使館
埴 哲夫
三富 聡 | 特命全権大使
三等書記官 |
| 2 | 保健省 (Ministerio de Salud Publica)
・ Marcelo Cruz Utreas
・ Fernando Campoverde Dreber
・ Fausto Cascante Lopez
・ Pablo Midalgo Nieto
・ Guillermo Perulla
・ Mario Paredes
・ José A. Correa Coronel | 大臣
地方保健次官
管理財務担当次官
法律顧問
国内法律部長
衛生局長
病院機材担当顧問 |
| 3 | 国立衛生熱帯医学研究所 (INHMT)
・ Edmundo Flores Marin
・ Elizabeth Benites de Escala
・ Elva Camba Campos
・ Janeth R. de Sánchez
・ Gustavo Rubio Coronel
・ Gladys A. de González
・ Bolivar González Morares
・ 天野 保二 | 所長
人部門副所長
生化学室課長
免疫化学室課長
電子顕微鏡室課長
ワクチン製造課長
化学検査室課長
常任科学顧問 |
| 4 | 国立児童家庭協会 (INNFA)
・ Morena A. de Assar | 地方部長 |
| 5 | 米州保健機構・世界保健機構 (PAHO/WHO)
・ Adriana F. Gomez
・ Carlos Samayoa C. | AIDS担当次席
ワクチン担当次官 |
| 6 | 世界銀行 (World Bank)
・ Evelyn N. Pezanzef | 人的資源開発グループ第III課担当官 |
| 7 | USAID
・ Kenneth R. Farr | 副所長 |
| 8 | Francisco de Icaza Bustamante小児病院
・ Antonio Gando Coello | 院長 |
| 9 | 国家開発審議会 (CONADE)
梅沢 賢浩 | 国際協力事業団派遣専門家 |

(2) 基本設計概要説明調査

1 在「エ」国日本国大使館
塙 哲夫
三富 聡

特命全權大使
三等書記官

2 保健省 (Ministerio de Salud Publica)
・ Marcelo Cruz Utreas
・ Fernando Campoverde Dreher
・ Fausto Cascante Lopez

大臣
地方保健次官
管理財務担当次官

3 国立衛生熱帯医学研究所 (INHMT)
・ Edmundo Flores Marin
・ Elizabeth Benites de Escala
・ Elva Camba Campos
・ Janeth R. de Sanchez
・ Gustavo Rulio Coronel
・ Gladys A. de González
・ 天野 保二

所長
人部門副所長
生化学室課長
免疫化学室課長
電子顕微鏡室課長
ワクチン製造課長
常任科学顧問

4 国家開発審議会 (CONADE)
・ Ecov. Leouorolo Vicutia
・ Mug. Rolaulo Vicutia
・ Lcdo. Xartier Paruitio
・ 梅沢 賢浩

Secretario General de Planificacion
Asesor Secretario General de Planificacion
Director General de Rela Cioves Eocteruas
国際協力事業団派遣専門家

5 米州保健機構・世界保健機構 (PAHO/WHO)
・ Patricio Hevia Rivas
・ Adriana F. Gomez
・ Carlos Samayoa C.
・ Keith Carter

エクアドル事務所長
AIDS担当次席
ワクチン担当次官
感染症プログラム担当

6 世界銀行 (World Bank)
・ Evelyn N. Pezanfez

人的資源開発グループ第III課担当官

国名	エクアドル共和国
	Republic of Ecuador

1996.10

1/2

一般指標					
政体	共和制	*1	首都	キト	*1
元首	Pres. Abdala Jaime BUCARAM ORTIS	*1	主要都市名	グアヤキル、クエンカ	*1
独立年月日	1822年05月24日	*1	経済活動可人口	4,000 千人 (1994年)	*5
人種(部族)構成	白人インディア混血 55%, インディア 25%	*4	義務教育年数	6 年間 (1995年)	*7
	白人		初等教育就学率	-- %	*5
言語・公用語	スペイン語、インディア言語	*1	初等教育終了率	63.0 % (1990年)	*5
宗教	ローマカトリック 95%	*1	識字率	89.0 % (1993年)	*5
国連加盟	1945年12月		人口密度	38.5676 人/Km ² (1994年)	*4
世銀・IMF加盟	1945年12月	*2	人口増加率	2.01 % (1994年)	*4
		*3	平均寿命	平均 69.98 男 67.46 女 72.62	*4
			5歳児未満死亡率	57 /1000 (1994年)	*5
面積	283.56千Km ²	*4	カロリー供給量	2,587.0 cal/日/人 (1992年)	*5
人口	10,677.067千人 (1994年)	*4			

経済指標					
通貨単位	スクレ	*1	貿易量	(1995年)	*8
為替レート (1US\$)	1US\$ = 3,217.0 (7月)	*6	輸出	4,307.0 百万ドル	*8
会計年度	1月~12月	*1	輸入	4,193.0 百万ドル	*8
国家予算	(1994年)	*6	輸入増減率	4.4 % (1994年)	*9
歳入	2,570.9 百万ドル	*6	主要輸出品目	石油、バナ、海老、ココア、コーヒー	*4
歳出	-- 百万ドル	*6	主要輸入品目	輸送機器、車、機械、化学製品	*4
国際収支	-745.00 百万ドル (1994年)	*6	日本への輸出	196.0 百万ドル (1995年)	*10
ODA受取額	217.00 百万ドル (1994年)	*8	日本からの輸入	333.0 百万ドル (1995年)	*10
国内総生産 (GDP)	16,556.00 百万ドル (1994年)	*8			
一人当りGNP	1,280.0 ドル (1994年)	*8	外貨準備総額	1,546.9 百万ドル (1996年)	*6
GDP産業別構成	農業 12.0 % (1994年)	*8	対外債務残高	986.0 百万ドル (1994年)	*9
	鉱工業 38.0 % (1994年)		対外債務返済率	21.8 % (1994年)	*9
	サービス業 50.0 % (1994年)		インフレ率	38.4 % (1993年)	*5
産業別雇用	農業 33.0 % (1990年)	*5			
	鉱工業 19.0 % (1990年)				
	サービス業 48.0 % (1990年)		国家開発計画		*11
経済成長率	3.5 % (1994年)	*8			

気象 (1971年~1984年平均) 場所: Quito (標高 2,879 m)													*12
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	22.0	22.0	22.0	21.0	21.0	22.0	22.0	23.0	23.0	22.0	22.0	22.0	22.0 °C
最低気温	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	7.0	7.0	7.0	7.0	8.0	7.0	8.0	7.5 °C
平均気温	13.4	13.3	13.5	13.4	13.5	13.3	13.3	13.4	13.3	13.2	13.2	13.3	13.3 °C
降水量	99.0	112.0	142.0	175.0	137.0	43.0	20.0	31.0	69.0	112.0	97.0	79.0	1,116.0 mm
雨期/乾期	雨	雨	雨	雨	雨								

*1 CIA World Fact Book (1993)

*8 World Development Report (1996)

*2 States Member of the United Nations

*9 World Debt Tables (1996)

*3 World Bank Fax (1994)

*10 世界の国一覽 (外務省外務報道官編集) (1996)

*4 CIA World Fact Book (1995-1996)

*11 最新世界各国要覽 (1996)

*5 Human Development Report (1996)

*12 理科年表 1996 (丸善)

*6 International Financial Statistics

*7 Statistical Yearbook 1995

国名	エクアドル共和国
	Republic of Ecuador

1996.10

2/2

*13

項目	1994	1990	1991	1992
技術協力	3,087.67	2,382.47	2,515.30	2,699.97
無償資金協力	2,456.48	1,989.63	2,050.70	2,194.95
有償資金協力	4,352.21	5,676.39	7,364.47	5,852.05
総 額	9,896.36	10,048.49	11,930.47	10,746.97

*14

項目	1993	1994	1991	1992
技術協力	10.13	12.72	5.70	7.51
無償資金協力	1.00	10.33	0.41	3.77
有償資金協力	12.49	10.00	1.00	14.93
総 額	23.62	33.05	7.11	26.21

*13

	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府 資金及び民間 資金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	123.10	69.40	81.40	204.50	71.80	276.30
1. イタリア	6.50	1.20	8.80	15.30	70.40	85.70
2. フランス	10.80	8.00	42.00	52.80	8.50	61.30
3. 日本	11.30	7.50	14.90	26.20	0.00	26.20
4. アメリカ	25.00	17.00	-4.00	21.00	3.00	24.00
多国間援助 (主要援助機関)	40.30	11.20	-0.60	39.70	10.50	50.20
1. IDB	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2. CEC	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合 計	163.40	80.60	80.80	244.20	82.30	326.50

*15

技術	関係各省庁・機関 → 国家開発審議会 → 外務省
無償	関係各省庁・機関 → 国家開発審議会 → 外務省
協力隊	関係各省庁・機関 → 国家開発審議会 → 外務省

*13 Geographical Distribution of Financial Flows of Developing Countries (1996)

*14 Japan's Official Development Assistance Annual Report (1995)

*15 国別協力情報 (JICA)

5. 協議・議事録

エクアドル共和国 国立衛生熱帯医学研究所
「レオポルド イスキエタ ペレス」機材整備計画
基本設計調査にかかる協議議事録（和訳）

エクアドル共和国政府からの協力要請に応え、日本国政府はグアヤキル市に本部を置く、国立衛生熱帯医学研究所機材整備計画（以下「計画」という）に関する基本設計調査の実施を決定し、当調査は日本国国際協力事業団（以下「事業団」という）が担当することとなった。

「事業団」はエクアドル国政府側と当計画に関する協議を行い、これに関連した状況調査の実施を目的として国際協力事業団北陸支部長、佐々木 豊を団長とする基本設計調査団（以下「調査団」という）を1996年10月12日からエクアドル共和国に派遣した。

調査団は、国立衛生熱帯医学研究所の本計画担当官をも含めエクアドル共和国政府関係官との一連の協議を行い、また調査サイトでの現地調査を実施した。

この協議と調査の間に双方は別紙に記載された主要事項について確認し両政府が当調査結果を検討していくことで合意し、調査団は調査を続行し基本設計調査報告書を作成するものとする。

グアヤキル市、1996年10月18日

（署名）

佐々木 豊
基本設計調査団長

（署名）

Dr. Frenand Campoverde Dreher
保健地方次官

（署名）

Dr. Marcelo Cruz Utreras
エクアドル共和国 保健省大臣

（署名）

Dr. Edmundo Flores Marín
国立衛生熱帯医学研究所長

（署名）

別紙

1. 目的

本計画は国立衛生熱帯医学研究所の医療機材の改善により「エ」国の医療サービスの水準向上を目的とする。

2. 計画実施サイト

本計画の実施サイトは、グアヤ県グアヤキル市に本部を置く、国立衛生熱帯医学研究所とする。

3. 責任・実施機関

本計画の責任機関はエクアドル共和国保健省であり、本計画の実施機関は国立衛生熱帯医学研究所である。

4. 計画内容の確認

1) 協議の結果、調査団は付属書Iに記した機材類がエクアドル共和国政府から最終的に要請されたものであることを確認した。

2) 調査団は付属書IIに当計画に妥当と思われる機材の選定基準を述べエクアドル側もこの適用に同意した。

5. 日本の無償資金協力制度

エクアドル側は付属書IIIに記載されている日本国の無償資金協力制度について理解した。

6. エクアドル共和国政府の義務

日本の無償資金協力が実施される場合、エクアドル側は付属書IVに記された、必要とされる措置をとるものとする。

7. 基本設計調査スケジュール

1) エクアドル共和国における基本設計調査は1996年10月29日まで続く。

2) 事業団は、日本国内での調査分析を行い、基本設計調査の最終報告書（案）を作成する。1997年1月ごろに、内容説明のミッションを派遣する。

3) 最終報告書（案）について、大筋において、エクアドル国政府が合意をした場合、事業団は最終報告書を完成させ、1997年3月ごろに、エクアドル共和国政府あて送付する。

8. その他関連事項

エクアドル政府からワクチン輸送用保冷車両、フィールドワーク及び研究用資料採集用車両、実験動物及びその資料運搬用車両の強い要請があったことに言及すべきである。

保健省が社会福祉政策を実施していくうえでの重要性を鑑み、地方研究所に対する機材要請はキト市、クエンカ市、ポルトビエホ市の地方研究所に対するものとすることで調査団とエクアドル政府は合意した。

附属書 I 機材リスト (省略)

附属書 II

機材選定基準

以下の原則に基づき機材計画を策定する

(1) 基本選定原則

- 1) 各施設の機能、レベルに適した機材の選定
- 2) 既存機材、周辺機材との技術的一貫性および関連性を維持できる機材の選定
- 3) 現体制（医師、技術者）で使用可能な機材の選定
- 4) 現存機材との重複を避けた数量の決定
- 5) 他の援助機関の支援と重複しないこと

(2) 基本的優先原則

- 1) 基本的な検査、ワクチン製造に必要な基本的な機材
- 2) 原則として既存機材の更新である機材
- 3) より簡便、かつ既存の技術で取り扱うことのできる機材
- 4) 活動上のニーズ（検査数等）が十分確認でき、必要性、妥当性が認められる機材
- 5) 対費用効果がより高い機材
- 6) 運営維持管理コストを相手国側で負担可能な機材

(3) 削除原則

- 1) エクアドル共和国及び日本国の廃水処理、廃棄物処理の関連法規・規則等に抵触する機材
- 2) 施設の新築および大幅な施設改修を必要とする機材
- 3) フロン等の環境問題を生じる物質を使用する機材
- 4) 新たな部署の設置および新たな技術の導入を前提とする機材
- 5) O.M.コストが高額になる機材
- 6) 単独での消耗品、試薬の供与
- 7) 現地での調達が可能であり、研究所独自の予算で購入が可能である機材
- 8) 要請機材の中で不必要に重複している機材
- 9) 要請後に入手、もしくは予算措置が取られている機材
- 10) 代理店が存在せず、供与後の維持管理が困難な機材

日本の無償資金協力制度

1. 無償資金協力実施の手順

(1) 我が国の無償資金協力（以下無償という）は次のような手順により行われる。

- ・ 要請（被援助国から提出された要請書）
- ・ 調査（事業団による基本設計調査書）
- ・ 審査と承認（日本国政府の審査と日本国閣議の承認）
- ・ 実施決定（両国政府の交換公文）
- ・ 実施（案件の実施）

(2) 第一段階である「要請」は被援助国政府から提出された要請書を基に日本国政府(外務省)は無償としての妥当性を検討する中で、案件としてのプライオリティが高いことが確認された場合には、事業団に対して調査の指示を行う。

第二段階である調査(基本設計調査)は事業団が実施するが、事業団は原則としてこの調査を我が国のコンサルタントとの契約によって行う。

第三段階の審査と承認は第二段階で事業団が作成した基本設計報告書を基に日本政府がそのプロジェクトが無償として適当であるかを審査した上、閣議請議を行う。

第四段階の実施の決定は、プロジェクトが閣議によって承認されると両国政府を交換公文の署名にいたる。

こうして、正式決定に至り、贈与が実行に移される。

2. 基本設計調査

1) 調査の内容

要請された計画に対して、事業団が実施する基本設計調査は、日本国政府が計画を審査するにあたって必要な基礎的資料を作成することにある。基本設計調査の内容は以下の通りである： 要請の背景、目的、効果並びに被援助国の当該施設の実施に必要な運営維持管理能力を調査すること、無償資金援助のスキームの上での妥当性を技術面と社会・経

済面で検証を行うこと、被援助国政府と協議の上、計画の基本構想を双方で確認すること、計画の基本設計を行うこと、概算事業費の積算を行うこと。

なお、当然のこととして、当初要請された内容が全てそのまま無償資金援助の対象となるのとは限らない。我が国の無償のスキームを勘案し、計画の基本構想が確認される。

無償資金協力を実施するに当たって、我が国は被援助国側の自助努力を求める立場から被援助国にも必要な措置を求めている。とくに、この措置が実施を担当する機関以外の所管事項である場合であってもその実施の保証を求めるものである。

これゆえ、計画の実施にあたって必要な措置は先方政府の関係するすべての機関とミニッツと交換公文を通じて確認する。

2) コンサルタントの選定

調査の実施に際して事業団は登録業者の中からプロポーザル方式によりコンサルタントを選定する。選定されたコンサルタントは事業団の指示に基づいて基本設計調査を行い報告書を作成する。

なお、無償の実行がE/Nにより決定された後のコンサルタントの契約については、基本設計調査と詳細設計業務の技術的一貫性を保つ必要性和新たな選定を繰り返すことによって実施が遅れることを避けるため、事業団は当該のコンサルタントを被援助国政府に推薦する。

3. 無償資金協力のスキーム

1) 無償資金協力とは

無償資金協力とは被援助国に返済業務を課さないで資金を供与する援助で被援助国が自国の経済・社会の発展のための計画に役立つ施設、資機材および役務、(技術あるいは輸送等)を調達するのに必要な資金を我が国の関係法令に従って以下のような原則により贈与するもので、我が国が資材・機材、設備等を直接に調達して現物供与する形態はとっていない。

2) 交換公文 (E/N)

日本の無償資金協力の実施に当たっては政府間の交換公文(E/N)が必要である。E/Nでは当該プロジェクトに係る目的、供与期限、実施条件、限度額等が確認される。

3) 供与期限

供与期限は我が国の閣議決定の行われた会計年度内とする。この間、ENの署名からコンサルタントおよびコントラクター等との契約を経て、最終的な支払いを含めて全てを終了しなくてはならない。

但し、天候等止むを得ない事情により搬入、据付、工事等が遅延した場合には両国間の協議により一年間(一財政年度)の延長が可能である。

4) 無償資金協力によって調達される生産物および役務は原則として日本国および被援助国のものでなくてはならない。

なお、贈与は両国政府が必要と認める場合には第三国(日本国および当該国以外)の生産物の購入あるいは輸送等の役務の購入にも使用することが可能である。

但し、無償の原則により、贈与を実施するに当たって必要とするプライムコントラクター、即ち、コンサルタント、施工業者および調達業者は「日本国民」に限定される。(ここでいう「日本国民」という語は日本国の自然人又はその支配する日本国の法人を意味する。)

5) 「認証」の必要性

当該国政府又は政府が指定する当局が行うの契約は「日本国民」と「円貨建」で締結される。この契約は日本政府による「認証」を必要とする。「認証」の必要性は贈与財源が日本国民の税金であることによる。

6) 被援助国に求められる措置

無償が実施されるに際して当該国政府は以下のような措置等が求められる。

- 1- 施設案件の実施に当たっては施設の建設に必要な土地を確保し、かつ、用地の整地を行うこと。
- 2- 用地の整地を行うに際しては、併せて、用地までの配電、給水、排水、その他の付随的な施設の整備、工事等を行うこと。
- 3- 資機材等の案件については、必要な建物等が確保されること。
- 4- 贈与に基づいて購入される生産物の入港地における陸揚げ、通関および国内輸送に係る経費の負担と速やかな実施の確保。

5- 認証された契約に基づき調達される生産物および役務のうち日本国民に課せられる関税、内国税およびその他の財政過徴金を免除すること。

6- 認証された契約に基づいて供与される日本国民の役務について、その作業の遂行のための入国および滞在に必要な便宜を与えること。

7- 適正使用

贈与に基づいて建設される施設および購入される機材が、当該計画の実施のために適正かつ効果的に維持され、使用されること並びにそのために必要な要員等の確保を行うこと。また、贈与によって負担される経費を除き計画の実施のために必要な維持・管理費全ての経費を負担すること。

8- 再輸出

贈与に基づいて購入される生産物は当該国より再輸出されてはならない。

9- 銀行取り決め

a) 当該国政府又は「指定された当局」は日本国内の外国為替公認銀行に当該国政府名義の勘定を開設する必要がある。日本国政府は認証された契約に基づいて当該国政府若しくは指定された当局が負う債務の弁済に充てるための資金を右勘定に「日本円」で払い込むことにより贈与を実施する。

b) 日本政府による払い込みは当該国政府又は指定された当局が発行する「支払い授權書」に基づいて「銀行」が支払い請求書を日本国政府に提出した時に行われる。

附属書 IV

日本の無償資金協力が実施される場合エクアドル共和国政府が行う措置

1. 本計画に必要なデータを情報の提供すること。
2. 本計画の実施期間中、一時的事務所として使用する場所を研究所の敷地内に提供すること。
3. 本計画に必要な周辺基盤（電気、給排水、その他の施設）について機材の据えつけまでに整備提供し、新機材を設置する場所に現在あるものを撤去すること。
4. 本計画のために輸入される機材について、速やか陸揚げ、通関「エ」国内の運送に必要な便宜を供与すること。
5. 本計画の実施の為に「エ」国に滞在する日本国民に対し関税及び賦課税の支払いを免除すること。
6. 日本国民による本計画の実施に必要な機材の持ち込み及び役務の供与に関し、「エ」国における滞在に必要な便宜を供与し、安全を確保すること。
7. 銀行取り決め（B/A）に従った、日本の外国為替銀行への銀行手数料の支払いをすること。
8. 本計画の実施が効果的に進むために必要とされる予算、人材（無償資金協力で供与される機材の OM コストを含む）を配置すること。
9. 無償資金協力で購入した機材を適切かつ効果的に使用し維持管理すること。
10. 本計画で無償資金協力で供与される以外の支出を負担すること。

MINUTA DE DISCUSIONES SOBRE EL ESTUDIO DE DISEÑO BASICO DEL
PROYECTO DE MODERNIZACION DE LOS EQUIPOS DEL
INSTITUTO NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL
" LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ "
EN LA REPUBLICA DEL ECUADOR

En respuesta a la solicitud del Gobierno del Ecuador, el Gobierno del Japón decidió realizar un estudio del Diseño Básico para el Proyecto de Modernización del INSTITUTO NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL " LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ", con sede en la ciudad de Guayaquil (de aquí en adelante "El Proyecto"), y encargó dicho estudio a la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA).

JICA envió el 12 de octubre de 1996 a la República del Ecuador una Misión para el Estudio del Diseño Básico (en adelante "La Misión") presidida por el Sr. YUTAKA SASAKI, Director Gerente de la Sede Hokuriku de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA).

La Misión sostuvo discusiones con las autoridades pertinentes del Gobierno del Ecuador y realizó las investigaciones en los lugares destinados al Proyecto.

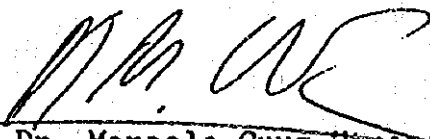
En el curso de las discusiones y el estudio de campo, las dos partes han confirmado los temas principales discutidos y mencionados en las hojas adjuntas. La Misión continuará los estudios y preparará el Reporte del Estudio del Diseño Básico.

Las partes firmantes del documento, declaran su compromiso de continuar con este proceso de Cooperación del Gobierno del Japón al del Ecuador.

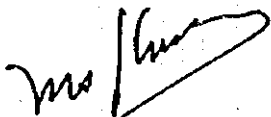
Guayaquil, 18 de octubre de 1996


Sr. Yutaka Sasaki
LIDER

MISION DEL ESTUDIO BASICO


Dr. Marcelo Cruz Utréras
MINISTRO DE SALUD PUBLICA
REPUBLICA DEL ECUADOR


Dr. Fernando Campoverde Dreher
SUBSECRETARIO REGIONAL DE SALUD


Dr. Edmundo Flores Marín
DIRECTOR NACIONAL INHMT



A P E N D I C E

1.- OBJETIVO.

El objetivo del Proyecto es contribuir al mejoramiento de la Salud Pública del Ecuador mediante la modernización de los equipos de los laboratorios del INSTITUTO NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL " LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ " (INHMT).

2.- SITIO DEL PROYECTO.

El sitio del Proyecto es el INSTITUTO NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL " LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ ", con sede en la ciudad de Guayaquil, provincia del Guayas.

3.- ORGANISMO RESPONSABLE Y EL EJECUTANTE.

El organismo responsable del Proyecto es el MINISTERIO DE SALUD PUBLICA (MSP), y el organismo ejecutante del Proyecto es el INSTITUTO NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL " LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ " (INHMT).

4.- CONFIRMACION DEL ALCANCE DEL TRABAJO.

- 1) Después de las discusiones, la Misión confirmó el listado de los equipos que constan en el Anexo I y que son finalmente solicitados por parte del Gobierno del Ecuador.
- 2) La Misión explicó los criterios señalados en el Anexo II para la selección de los equipos, criterios que fueron aceptados por la parte técnica del Gobierno Ecuatoriano.

5.- SISTEMA DE COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DEL JAPON.

El Gobierno Ecuatoriano ha aceptado el sistema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón descrito en el Anexo III.

6.- MEDIDAS NECESARIAS DEL GOBIERNO DEL ECUADOR.

El Gobierno del Ecuador tomará las medidas necesarias descritas en el Anexo IV para la rápida implementación del Proyecto, en caso de que la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón extendiera el Proyecto.



INSTITUTO NACIONAL



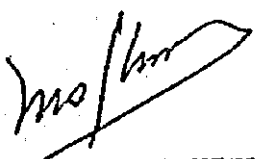
7.- ITINERARIO DEL ESTUDIO

- 1) Los Miembros de la Misión realizarán los trabajos en el Ecuador hasta el 29 de octubre de 1996.
- 2) JICA preparará el Borrador del Informe Final y enviará una Misión, con el fin de explicar su contenido, aproximadamente en enero de 1997.
- 3) En caso de que el contenido de dicho Informe sea aceptado en lo principal por el Gobierno del Ecuador, JICA elaborará el Informe Final y lo enviará al Gobierno del Ecuador aproximadamente en marzo de 1997.

8.- OTROS ASUNTOS RELACIONADOS.

Es muy importante mencionar con respecto al suministro de vehículos que el Gobierno del Ecuador ha insistido en la necesidad del envío de vehículos con sistemas de refrigeración apropiados para el transporte de las vacunas; otro tipo de vehículos para realizar trabajos de campo y facilitar la toma de muestras para las actividades de investigación; así como también vehículos que sirvan para transportar animales de laboratorio o alimentos para los mismos.

Tanto la Misión Japonesa como la contraparte Ecuatoriana estuvieron de acuerdo en que los equipos solicitados para los Laboratorios Periféricos de la Institución podrían remitirse a los Laboratorios regionales con sede en las ciudades de: Quito, Cuenca y Portoviejo, en vista de la gran importancia que ellos tienen para que el Ministerio de Salud Pública pueda desarrollar una actividad de beneficio social mas efectiva.



DIRECTOR INSTITUTO NACIONAL
DE HIGIENE



ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
1. Anatomical Pathology		
1- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
1- 2	DISSECTING MICROSCOPE, ZOOM	1
1- 3	ROTARY MICROTOME	1
1- 4	CRYOSTATE (FREEZING MICROTOME)	1
1- 5	BIOPSY PUNCH (SKI AND CERVIX)	12
1- 6	ANIMAL DISSECTION EQUIPMENT	5
1- 7	DISSECTING KNIFE, 45MM, SHARP EDGE 25MM	6
1- 8	INTERVAL TIMER	2
1- 9	REFRIGERATOR (Capacity. 200L)	1
1- 10	FREEZER, -40°C	1
2. Bacteriology		
2- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
2- 2	DARK FIELD MICROSCOPE	1
2- 3	COLONY COUNTER	1
2- 4	INTERVAL TIMER	2
2- 5	VORTEX MIXER	2
2- 6	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	1
2- 7	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	1
2- 8	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	1
2- 9	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	1
2- 10	WATER BATH	2
2- 11	AUTOCLAVE, ELECTRIC	1
2- 12	CO2 INCUBATOR	1
2- 13	REFRIGERATOR (Capacity. 200L)	1
3. Biochemistry		
3- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
3- 2	SPECTROPHOTOMETER, 190-900nm	1
3- 3	PH METER, WITH SPARE ELECTRODES	1
3- 4	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	2
3- 5	INTERVAL TIMER	2
3- 6	VORTEX MIXER	2
3- 7	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	2
3- 8	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	2
3- 9	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	2

[Handwritten signature]
 DIRECTOR INSTITUTO NACIONAL
 DE HIGIENE

[Handwritten mark]

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
3- 10	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	2
3- 11	WATER BATH	1
3- 12	PIPETTE WASHER	2
3- 13	AUTOCLAVE, ELECTRIC	1
3- 14	HOT AIR OVEN, ELECTRIC	1
3- 15	GLASS WARE DRYER	1
3- 16	HOMOGENIZER, CUP AND CUTTER SETS, 10-300ML	1
3- 17	REFRIGERATED CENTRIFUGE	1
3- 18	CENTRIFUGE, TABLE TOP	1
3- 19	REFRIGERATOR (Capacity. 200L)	2
3- 20	FREEZER, -80°C	1
3- 21	WATER DESTILLATOR	1
3- 22	CHEMICAL BALANCE, MAX. 300G	1
3- 23	ANALYTICAL BALANCE MAX. 100G	1
3- 24	FREEZE DRYER FOR LABORATORY USE	1
3- 25	COMPUTER	1
3- 26	LABORATORY WAGON	2
3- 27	LABORATORY BENCH, 90 X 60 X 70CM	3
3- 28	LABORATORY CHAIR	6
4. Chemistry		
4- 1	SPECTROPHOTOMETER, 190-900nm	1
4- 2	GAS CHROMATOGRAPH, WITH NPD, FID	1
4- 3	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	1
4- 4	PIPETTE WASHER	1
4- 5	GLASS WARE DRYER	1
4- 6	WATER DESTILLATOR	1
4- 7	LABORATORY WAGON	1
5. Control Internal		
5- 1	DISSECTING SCISSORS, 14CM	24
5- 2	DRESSING FORCEPS, 15CM	24
6. Culture Medium Sterilization		
6- 1	PH METER, WITH SPARE ELECTRODES	1
6- 2	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	1
6- 3	VORTEX MIXER	2

[Handwritten signature]

[Handwritten initials]

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
6- 4	PIPETTE WASHER	1
6- 5	REFRIGERATOR(Capacity. 200L)	1
6- 6	CLEAN BENCH	1
6- 7	CHEMICAL BALANCE, MAX. 300G	1
6- 8	BALANCE, MAX. 1,000G	2
6- 9	HOT AIR OVEN, ELECTRIC	1
6- 10	AUTOCLAVE	1

7. Electronic Microscopy

7- 1	WATER DESTILLATOR	1
7- 2	COOLING WATER CIRCULATOR, FOR E.M.	3
7- 3	ELECTRON MICROSCOPE, TRANSMISSION	1
7- 4	ELECTRON MICROSCOPE, SCANNING	1
7- 5	VACUUM EVAPORATOR	1
7- 6	FINE COAT (ION SPUTER)	1
7- 7	CRITICAL POINT DRYER	1
7- 8	DISSECTING MICROSCOPE , ZOOM	1
7- 9	ULTRAMICROTOME, WITH 2 DIAMOND KNIFE	1
7- 10	ROTATION MICROTOME	1
7- 11	CRYOSTATE (FREEZING MICROTOME)	1
7- 12	LABORATORY CHAIR	6

8. Entomology

8- 1	FREEZER, -80°C	1
------	----------------	---

9. Experimental Pathology

9- 1	SPECTROPHOTOMETER , 190-900nm	1
9- 2	INTERVAL TIMER	2
9- 3	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	1
9- 4	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	1
9- 5	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	1
9- 6	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	1
9- 7	WATER BATH	1
9- 8	PIPETTE WASHER	1
9- 9	REFRIGERATED CENTRIFUGE	1
9- 10	REFRIGERATOR(Capacity. 200L)	1

ms/hm

(3/3)

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
10. Inmunochimistry		
10- 1	INVERTED MICROSCOPE	1
10- 2	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
10- 3	MICROPHOTO SYSTEM	1
10- 4	FLUORESCENCE MICROSCOPE, WITH CAMERA	1
10- 5	ELECTROPHORESIS SYSTEM	1
10- 6	DENSITOMETER, FOR ELECTROPHOSIS	1
10- 7	FRACTION COLLECTOR, FOR COLUMN CHROMATOGRAPHY	1
10- 8	UV MONITOR, FOR COLUMN CHROMATOGRAPHY	1
10- 9	PERISTALTIC PUMP , FOR COLUMN CHROMATOGRAPHY	1
10- 10	PH METER, WITH SPARE ELECTRODES	1
10- 11	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	2
10- 12	INTERVAL TIMER	2
10- 13	VORTEX MIXER	2
10- 14	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	2
10- 15	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	2
10- 16	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	2
10- 17	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	2
10- 18	WATER BATH	1
10- 19	PIPETTE WASHER	1
10- 20	HOT AIR OVEN, ELECTRIC	1
10- 21	HOMOGENEIZER, CUP AND CUTTER SETS, 10-300ML	1
10- 22	CO2 INCUBATOR	1
10- 23	ULTRACENTRIFUGE	1
10- 24	REFRIGERATOR (Capacity. 300L)	1
10- 25	FREEZER, -40°C	2
10- 26	FREEZER, -80°C	1
10- 27	WATER DESTILLATOR	1
10- 28	CHEMICAL BALANCE, MAX. 300G	1
10- 29	ANALYTICAL BALANCE MAX. 100G	1
10- 30	FREEZE DRYER FOR LABORATORY USE	1
10- 31	PCR SYSTEM (THERMAL REACTOR, MINI-GEL ELECTROPHORESIS)	1
10- 32	COMPUTER	1
10- 33	LABORATORY CHAIR	6
10- 34	ICE MAKER	2
10- 35	DYNATECH MICRO ELISA, auto reader, dynawasher, microbaker, dynadrooper	1
10- 36	CENTRIFUGE	1

ms/...

(32)

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
10- 37	SPECTROPHOTOMETER , 190-900nm	1
10- 38	SAFETY CABINET	1

11. Immunology

11- 1	PIPETTE WASHER	1
11- 2	ELECTROPHORESIS SYSTEM	1
11- 3	DENSITOMETER, FOR ELECTROPHOSIS	1
11- 4	FRACTION COLLECTOR, FOR COLUMN CHROMATOGRAPHY	1
11- 5	UV MONITOR, FOR COLUMN CHROMATOGRAPHY	1
11- 6	PERISTALTIC PUMP , FOR COLUMN CHROMATOGRAPHY	1
11- 7	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	1
11- 8	VORTEX MIXER	2
11- 9	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	1
11- 10	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	1
11- 11	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	1
11- 12	MICRO PIPETTES, ADUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	1
11- 13	REFRIGERATOR(Capacity. 200L)	1

12. Leptospirosis

12- 1	DARK FIELD MICROSCOPE	1
12- 2	DISSECTING MICROSCOPE , ZOOM	1
12- 3	INVERTED MICROSCOPE	1
12- 4	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
12- 5	MICROPHOTO SYSTEM	1
12- 6	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	1
12- 7	INTERVAL TIMER	2
12- 8	PIPETTE WASHER	1
12- 9	AUTOCLAVE, ELECTRIC	1
12- 10	REFRIGERATOR(Capacity. 200L)	1

13. Library

13- 1	COMPUTER	1
-------	----------	---

14. Micology

14- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
14- 2	INTERVAL TIMER	1
14- 3	VORTEX MIXER	2

ms/lt

(35)

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
14- 4	CENTRIFUGE, TABLE TOP	1
14- 5	FREEZER, -40°C	1
14- 6	SAFETY CABINET	1
15. Miscellaneous		
15- 1	AIR CONDITIONER, 115V	15
15- 2	WATER PUMP AND MOTOR	2
15- 3	SET OF PRINTING MACHINE	1
15- 4	ELECTRIC POWER PLANT, 220-240V	1
15- 5	STEAM BOILER	1
15- 6	AIR COMPRESSOR	1
16. Parasitology		
16- 1	TOXICAP	1
16- 2	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
16- 3	INTERVAL TIMER	2
16- 4	VORTEX MIXER	2
16- 5	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	1
16- 6	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	1
16- 7	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	1
16- 8	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	1
16- 9	HOMOGENEIZER, CUP AND CUTTER SETS, 10-300ML	1
17. Regional		
17- 1	WATER DESTILLATOR	5
17- 2	CENTRIFUGE, TABLE TOP	10
17- 3	PIPETTE SHAKER (WHITE CELL)	5
17- 4	FLUORESCENT MICROSCOPE	2
17- 5	GLASS WARE DRYER	10
17- 6	SPECTROPHOTOMETER	3
18. Sanitary Microbiology		
18- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	2
18- 2	INTERVAL TIMER	2
18- 3	PIPETTE WASHER	1
18- 4	HOT AIR OVEN, ELECTRIC	1
18- 5	FREEZER, -40°C	1

ms/ham

(Signature)

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
18- 6	LABORATORY WAGON	2
19. Sanitary Water		
19- 1	INTERVAL TIMER	2
19- 2	PIPETTE WASHER	1
19- 3	GLASS WARE DRYER	1
19- 4	ATOMIC ABSORPTION SPECTROPHOTOMETER	1
20. Serology		
20- 1	FLUORESCENCE MICROSCOPE, WITH CAMERA	1
20- 2	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	1
20- 3	INTERVAL TIMER	2
20- 4	VORTEX MIXER	2
20- 5	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	1
20- 6	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	1
20- 7	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	1
20- 8	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	1
20- 9	PIPETTE WASHER	1
20- 10	AUTOCLAVE, ELECTRIC	1
20- 11	HOT AIR OVEN, ELECTRIC	1
20- 12	CENTRIFUGE, TABLE TOP	1
20- 13	REFRIGERATOR (Capacity, 200L)	1
20- 14	WATER DESTILLATOR	1
20- 15	LABORATORY WAGON	1
20- 16	LABORATORY BENCH, 90 X 60 X 70CM	2
20- 17	LABORATORY CHAIR	6
20- 18	DYNATECH MICRO ELISA, auto reader, dynawasher, microshaker, dynadrooper	1
21. Toxicology		
21- 1	GAS CHROMATOGRAPH, WITH NPD, FTD	1
22. Tuberculosis		
22- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
22- 2	FREEZER, -40°C	1
22- 3	COMPUTER	1
22- 4	FLUORESCENCE MICROSCOPE, WITH CAMERA	1
22- 5	CENTRIFUGE, TABLE TOP	2

Handwritten signature

(Handwritten initials)

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
22- 6	VORTEX MIXER	1
22- 7	TOXICAP	1
22- 8	INCUBATER ROOM Walk in type	1
23.Vac. BCG		
23- 1	FREEZE DRYER	1
23- 2	AMPOULE SEALING MACHINE	1
23- 3	AUTOMATIC WASHING MACHINE FOR VIAL AND AMPOULE	1
23- 4	AUTOMATIC LABELLING MACHINE FOR AMPOULE	1
23- 5	AUTOCLAVE	2
23- 6	CLEAN BENCH	1
24.Vac. Diphtheria		
24- 1	REFRIGERATED CENTRIFUGE	1
24- 2	AUTOCLAVE	2
24- 3	WATER DESTILLATOR	1
24- 4	VACUUM PRESSURE PUMP FOR FILTRATION, 115V, 60Hz	1
24- 5	CLEAN BENCH	1
24- 6	FREEZE DRYER	1
25.Vac. Pertussia		
25- 1	VIAL SEALING MACHINE	1
25- 2	AUTOMATIC LABELLING MACHINE FOR VIAL	1
25- 3	REFRIGERATED CENTRIFUGE	1
25- 4	AUTOCLAVE	2
25- 5	MIXING TANK	1
26.Vac. Rabies		
26- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
26- 2	PH METER, WITH SPARE ELECTRODES	1
26- 3	MAGNETIC STIRRER, WITH BARS	1
26- 4	INTERVAL TIMER	1
26- 5	VORTEX MIXER	2
26- 6	WATER BATH	1
26- 7	FREEZER, -40°C	1
26- 8	REFRIGERATED CENTRIFUGE	1
26- 9	AUTOCLAVE	2

ANEXO I

Item No.	Description	Q'ty
27. Vac. Tetanus		
27- 1	REFRIGERATED CENTRIFUGE	1
27- 2	AUTOCLAVE	2
27- 3	VACUUM PRESSURE PUMP FOR FILTRATION, 115V, 60Hz	1
27- 4	ICE MAKER	1
28. Vaccine Production Ge.		
28- 1	SERUM COAGULATOR, 5000 TEST TUBES	1
28- 2	HOMOGENEIZER	1
28- 3	UV LAMP SET WITH LAMP (10)	30
28- 4	CLEAN BENCH	5
28- 5	CHEMICAL BALANCE, MAX. 300G	1
28- 6	BALANCE, MAX. 1,000G	3
28- 7	LABORATORY WAGON	2
28- 8	LABORATORY BENCH, 90 X 60 X 70CM	2
28- 9	LABORATORY CHAIR	6
29. Virology		
29- 1	MICROSCOPE, LIGHT (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
29- 2	FLUORESCENCE MICROSCOPE, WITH CAMERA	1
29- 3	VORTEX MIXER	2
29- 4	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 20UL WITH TIPS	1
29- 5	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 75UL WITH TIPS	1
29- 6	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 100UL WITH TIPS	1
29- 7	MICRO PIPETTES, ADJUSTABLE, MAX. 1000UL WITH TIPS	1
29- 8	PIPETTE WASHER	1
29- 9	AUTOCLAVE, ELECTRIC	1
29- 10	HOT AIR OVEN, ELECTRIC	1
29- 11	FREEZER, -40°C	2
29- 12	SAFETY CABINET	1
29- 13	LABORATORY WAGON	2
29- 14	LABORATORY BENCH, 90 X 60 X 70CM	3

[Handwritten signature]

DIRECCION NACIONAL
DE HIGIENE
DE HIGIENE

[Handwritten initials]

ANEXO II

CRITERIOS PRINCIPALES PARA LA SELECCION DE EQUIPOS.

Los siguientes criterios han sido utilizados para la selección de los equipos:

(1) Criterios Básicos.

- 1) Aptos para las funciones y nivel técnico del Instituto
- 2) Compatibilidad con los equipos existentes
- 3) Equipos que no requieran nuevo personal
- 4) Evitar repetición de equipos
- 5) Evitar repetición con otras donaciones.

(2) Criterios para priorizar la selección.

- 1) Equipos básicos para los laboratorios de investigación y diagnóstico.
- 2) Equipos para renovación de los ya existentes
- 3) Equipos de fácil manejo
- 4) Equipos cuya necesidad se justifique
- 5) Equipos cuyo beneficio justifique el costo de inversión
- 6) Equipos cuya operación y mantenimiento pueda ser cubierta fácilmente por el receptor.

(3) Criterios para eliminación de equipos.

- 1) Equipos que tienen riesgo de violar o contravenir leyes y reglamentos sobre medio ambiente (incluyendo basuras y alcantarillados) del Japón y/o Ecuador.
- 2) Equipos que requieren nueva construcción o reconstrucción grande del edificio.
- 3) Equipos que usan cloro-fluoro-carbonados y otros materiales que produzcan contaminación al medio ambiente.
- 4) Equipos que requieran nueva reestructuración orgánica funcional del Instituto.
- 5) Equipos que requieran demasiado gasto para su mantenimiento y operación.
- 6) Artículos de consumo y reactivos independientes de los equipos.
- 7) Equipos fáciles de conseguir en el país con el presupuesto del Instituto.
- 8) Equipos innecesariamente repetidos en la lista.
- 9) Equipos ya adquiridos por otra donación o por presupuesto del Instituto.
- 10) Equipos cuyo mantenimiento y reparación posterior no se pueda garantizar o asegurar.


DIRECTOR INSTITUTO NACIONAL



ANEXO III

SISTEMA DE LA COOPERACION
FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DEL JAPON

1.- Procedimiento de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón.

El procedimiento de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón es el siguiente:

- 1) Solicitud (Presentación de una solicitud oficial por el país receptor)

Estudio (Estudio de Diseño Básico conducido por JICA).

Evaluación y aprobación (Evaluación del Proyecto por el Gobierno del Japón y aprobación por el Gabinete).

Decisión para la ejecución (Firma del Canje de Notas por ambos Gobiernos). Realización (realización del Proyecto).

- 2) En la primera etapa el Gobierno del Japón (el Ministerio de Relaciones Exteriores) estudia la solicitud formulada por el país receptor para determinar si el Proyecto es apropiado para la Cooperación Financiera No Reembolsable. Si se confirma que la solicitud tiene alta prioridad como Proyecto para la Cooperación Financiera No Reembolsable, el Gobierno del Japón ordena a JICA efectuar el Estudio.

Luego viene la segunda etapa, que se refiere al Estudio del Diseño Básico; JICA realiza este estudio, en principio contratando una compañía consultora japonesa.

En la tercera etapa se realiza la Evaluación y Aprobación. En ella el Gobierno del Japón evalúa y confirma que el Proyecto es apropiado para la Cooperación Financiera No Reembolsable, en base al informe del Diseño Básico elaborado por JICA en la segunda etapa, luego envía el contenido del Informe al Gabinete para su aprobación.

La cuarta etapa se refiere a la Decisión de Realización. Una vez aprobado el Proyecto por el Gabinete, se firma el Canje de Notas por los representantes del Gobierno del Japón y del Gobierno receptor.

Formalizado el Proyecto, se procederá a la realización del mismo.


DIRECTOR INSTITUTO NACIONAL
DE HIGIENE



2.- Estudio del Diseño Básico

1) Contenido del Estudio

El estudio del Diseño Básico conducido por JICA está destinado a proporcionar el documento básico necesario para que el Gobierno del Japón evalúe si el Proyecto es viable o no para el sistema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón. El contenido del Estudio incluye: la confirmación de los antecedentes, el objetivo, la eficiencia del Proyecto y la capacidad de la institución responsable para la administración y mantenimiento del Proyecto, el examen de la viabilidad técnica y socio-económica, la confirmación del concepto básico del Plan Optimo del Proyecto a través de la mutua deliberación con el país receptor, preparación del Diseño Básico del Proyecto y estimación del costo del mismo.


El contenido del Proyecto presentado por el país receptor no necesariamente es aceptado en su totalidad con el esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable.

Al realizar el Proyecto bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable, el Gobierno del Japón desea que el Gobierno del país receptor tome todas las medidas necesarias para promover su autosuficiencia. Esas medidas deberán asegurarse aunque estén fuera de la jurisdicción de la entidad del Proyecto en el país receptor. Por lo tanto, la ejecución del Proyecto es confirmada por todas las organizaciones relevantes en el país receptor mediante la Minuta de Discusiones.

2) Selección de la compañía consultora.

Al realizar el Estudio, JICA selecciona una de las compañías consultoras-entre aquellas registradas en JICA-mediante una licitación en la que presentan sus propuestas. La compañía seleccionada realiza el Estudio del Diseño Básico y elabora el Informe bajo la supervisión de JICA.

Después de la firma de Canje de Notas, con el fin de asegurar coherencia técnica entre el Diseño Básico y el Diseño Detallado, y tomando en cuenta que no hay tiempo suficiente para seleccionar la compañía consultora nuevamente, JICA recomienda al Gobierno del país receptor emplear la misma compañía consultora que se hizo cargo del Diseño Básico para el Diseño Detallado y supervisión de la realización del Proyecto.


DIRECCIÓN INSTITUTO NACIONAL
DE HIGIENE



3) Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable

1) Cooperación Financiera No Reembolsable.

La Cooperación Financiera No Reembolsable consiste en la donación de fondos que no requieren la obligación de reembolso por parte de los países receptores, y permite a través del fondo adquirir equipos, materiales y servicios (técnicos, transportes, etc) necesarios para el desarrollo económico y social de los países receptores bajo las normas siguientes y las leyes relacionadas del Japón. La Cooperación no extiende donaciones en especies.

2) Firma de Canje de Notas

En la realización de la Cooperación Financiera No Reembolsable, se necesita el acuerdo y la firma del Canje de Notas (C/N) entre ambos Gobiernos. En el C/N se aclaran el objetivo, el período efectivo de la donación, las condiciones de realización y el límite del monto de la donación.

3) Período de ejecución.

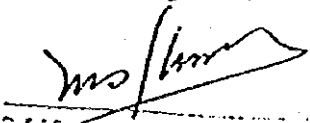
El período efectivo de la donación debe ser dentro del mismo año fiscal del Japón (del 1 de abril hasta el 31 de marzo del siguiente año) en el que el Gabinete aprueba la Cooperación. Durante este período debe concluirse todo el proceso desde la firma del C/N hasta el contrato con la compañía consultora o constructora, incluyendo el pago final.

Sin embargo, en el caso de un retraso en el transporte, instalación o construcción por la condición de clima u otros, existe la posibilidad de prolongar por un año mas (un año fiscal) previa consulta entre ambos Gobiernos.

4) Adquisición de los productos y servicios.

La Cooperación Financiera No Reembolsable será utilizada apropiadamente por el Gobierno del país receptor para la adquisición de los productos japoneses o del país receptor y los servicios de nacionales japoneses y nacionales del país receptor para la ejecución del Proyecto: (El término " nacionales japoneses " significa personas físicas japonesas o personas jurídicas japonesas controladas por personas físicas japonesas).

No obstante lo arriba mencionado, la Cooperación Financiera No Reembolsable podrá ser utilizada cuando los dos Gobiernos lo estimen necesario para la adquisición de productos de terceros países (excepto Japón y el país receptor) y los servicios para el transporte que no sean de los nacionales japoneses ni de nacionales del país receptor.



Sin embargo, considerando el esquema de la donación del Japón los contratistas principales para la ejecución del Proyecto como consultores, constructores y proveedores deberán ser nacionales-japoneses.


5) Necesidad de Aprobación.

El Gobierno del país receptor o la Autoridad designada por él, concertará contratos en yenes japoneses con nacionales japoneses. A fin de ser aceptable, tales contratos deberán ser verificados por el Gobierno del Japón. Esta verificación se debe a que el fondo de donación proviene de los impuestos generales de los nacionales japoneses.

6) Responsabilidad del Gobierno Receptor.

El Gobierno del país receptor tomará las siguientes medidas necesarias:

- 1) Asegurar la adquisición y preparación del terreno necesario para los lugares del Proyecto, limpiar y nivelar el terreno previo al inicio de los trabajos de construcción.
- 2) Proveer de instalaciones adecuadas para la distribución de electricidad, suministro de agua, alcantarillado y otras instalaciones adicionales dentro y fuera de los lugares del Proyecto.
- 3) Proporcionar los edificios y los espacios necesarios en caso de que el Proyecto incluya la provisión de equipos.
- 4) Asegurar todos los gastos y la pronta ejecución del desembarco y despacho aduanero en el país receptor y en el transporte interno de los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable.
- 5) Exonerar del pago de derechos aduaneros, impuestos internos y otras cargas fiscales que se impongan a los nacionales japoneses en el país receptor, con respecto al suministro de los productos y los servicios bajo los Contratos Verificados.
- 6) Otorgar a los nacionales japoneses, cuyos servicios sean requeridos en conexión con el suministro de los productos y los servicios bajo los Contratos Verificados, las facilidades necesarias para su ingreso y estancia en el país receptor para el desempeño de sus funciones.


DIRECTOR INSTITUTO NACIONAL
DE HIGIENE



7) **Uso Adecuado**

El país receptor deberá asegurar que las instalaciones construidas y los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable sean debida y efectivamente mantenidos y utilizados, asignando el personal necesario para la ejecución del Proyecto.

Deberá también sufragar otros gastos necesarios a excepción de aquellos otros a ser cubiertos por la Donación.

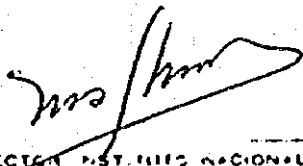
8) **Reexportación.**

Los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable no deberán ser reexportados del país receptor.

9) **Arreglo Bancario.**

a) El Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él deberá abrir una cuenta bancaria a nombre del Gobierno del país receptor en un banco autorizado para el cambio de moneda extranjera en el Japón (en adelante, referido como el Banco). El Gobierno del Japón llevará a cabo la Cooperación Financiera No Reembolsable efectuando pagos en yenes japoneses, para cubrir las obligaciones contraídas por el Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él, bajo los Contratos Verificados.

b) Los pagos por parte del Japón se efectuarán cuando las solicitudes de pago sean presentadas por el Banco al Gobierno del Japón en virtud de una autorización de pago (A/P) expedida por el Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él.

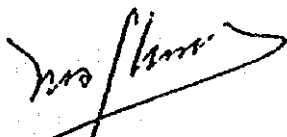

DIRECCIÓN INSTITUTO NACIONAL
DE HIGIENE



ANEXO IV

MEDIDAS NECESARIAS A TOMARSE POR PARTE DEL GOBIERNO DEL ECUADOR EN CASO DE QUE LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE SEA EXTENDIDA AL PROYECTO.

- 1.- Proveer los datos e información para la implementación del proyecto.
- 2.- Proporcionar una área dentro del Instituto para la oficina temporal de la Misión Japonesa durante su permanencia para la implementación del Proyecto.
- 3.- Preparar la infraestructura para el Proyecto (electricidad, agua, alcantarillado y otros) antes de la instalación de los equipos, desmontar y remover material innecesario de las áreas, si es necesario.
- 4.- Asegurar el rápido despacho aduanero de los productos del Proyecto en el lugar de desembarco en el Ecuador.
- 5.- Exonerar a los ciudadanos japoneses encargados de los trabajos del suministro de los materiales, equipos médicos y servicios según los Contratos Verificados, de todos los impuestos internos (incluyendo los municipales y provinciales), el impuesto de valor agregado (IVA) y otras recaudaciones que se gravan en el Ecuador.
- 6.- Otorgar a los ciudadanos japoneses, cuyos servicios sean requeridos en relación con el suministro de los materiales, equipos médicos y servicios bajo los Contratos Verificados, aquellas facilidades que sean necesarias para su entrada en el Ecuador y su permanencia en el país durante su tiempo de trabajo.
- 7.- Pagar las comisiones al banco autorizado de cambio extranjero en el Japón por las operaciones estipuladas en el arreglo bancario (A/B).
- 8.- Asegurar el presupuesto necesario para garantizar la operación, mantenimiento y control de los equipos médicos e instalaciones adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable.
- 9.- Mantener y utilizar adecuada y eficazmente todos los equipos médicos e instalaciones adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable.
- 10.- Pagar todos los gastos necesarios del Proyecto fuera de los gastos que la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón cubre.


DIRECCION INSTITUTO NACIONAL
DE HIGIENE



エクアドル共和国国立熱帯医学研究所機材整備計画基本設計概要説明調査
にかかる協議議事録

国際協力事業団（以下「JICA」という）は、国立熱帯衛生医学研究所機材整備計画（以下「計画」という）にかかる基本設計調査団を1996年10月13日から1996年10月30日までエクアドル共和国に派遣し、その協議、当該研究所等のサイト調査及び日本国内においての技術調査の結果を経て、基本設計調査報告書案を準備した。

この報告書案の内容をエクアドル政府関係者及び当該研究所関係者に説明・協議するために、JICAは、国際協力事業団北陸支部長佐々木 豊を団長とする基本設計概要説明調査団（以下「調査団」という）をエクアドル共和国へ1997年1月12日から同年1月21日まで派遣した。

協議の結果、以下に示された基本事項につき双方確認した。

キト 1997年1月20日

佐々木 豊
基本設計概要説明調査団団長
JICA

Dr. Edmundo Flores Marin
国立衛生熱帯医学研究所
研究所長

Dr. Marcero Cruz Utreas
エクアドル共和国
厚生省大臣

アタッチメント

1. 報告書の内容

エクアドル共和国は、調査団によって提出された基本設計概要書の内容の主旨について同意し、了承した。

2. 実施機関

エクアドル共和国厚生省が本計画の受入及び実施機関となる。

3. エクアドル共和国から要請された機材

本調査団と国立衛生熱帯医学研究所との協議の結果、アネックス1に示された機材の調達が最終的にエクアドル共和国から要請されたものと合意した。

4. 日本の無償資金協力システム

1) エクアドル共和国政府は調査団より説明された無償資金協力のシステムについて理解した。(アネックス2参照)

2) エクアドル共和国政府は、本計画が無償資金協力により実施される場合には計画が順調に実施されるため、アネックス3に示す必要な措置をとる。

5. 調査スケジュール

本調査団は1997年3月末までにファイナルレポートをエクアドル共和国に送付する。

6. その他関連事項

日本からの無償資金協力により機材供与が実施された場合、国立衛生熱帯医学研究所は以下の事項を確約する。

1) 当研究所はワクチン製造及び品質管理に関しては、PAHOの技術指導及び支援を得て、PAHOの示す検査項目の全ての基準を遵守した品質のワクチンを恒常的に製造すること。

2) BCGワクチン分野の機材供与が日本国政府から認められ、部屋の内装の改修の改修の必要が生じた場合はエクアドル共和国の負担で行い、改修工事は機材が到着する前に終了させること。

3) 既存のリフトの撤去をエクアドル共和国の負担で行い、撤去工事は機材が調達する前に終了させること。

4) 供与された機材を有効に利用するために、当研究所は機材の運営・維持管理に必要な経費を確保し、供与機材を十分に活用すること。

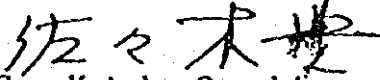
MINUTA DE DISCUSIONES
DEL BORRADOR DEL DISEÑO BASICO DEL
" PROYECTO DE MODERNIZACION DE LOS EQUIPOS DEL INSTITUTO
NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL
" LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ "
DE LA REPUBLICA DEL ECUADOR

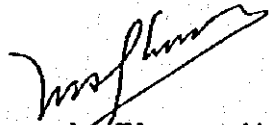
La Agencia de Cooperación Internacional del Japón (que en adelante se denominará "JICA"), envió una Misión de Estudio del Diseño Básico para el Proyecto de Equipamiento del INSTITUTO NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL " LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ " (que en adelante se denominará "Proyecto") a la República del Ecuador desde el 13 de octubre de 1996 hasta el 30 de octubre del mismo año y después de los estudios y discusiones efectuadas en las áreas físicas de la Institución y en el Japón, preparó el Borrador del Diseño Básico.

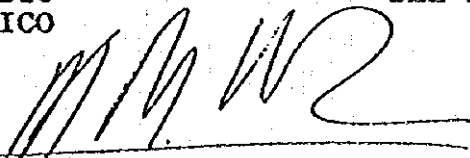
"JICA" envió a la República del Ecuador una nueva Misión encabezada por el Sr. Yutaka Sasaki, Director Gerente de la Sede Hokuriku de "JICA" para la explicación y discusión del contenido de este Borrador a la contraparte del Gobierno del Ecuador y a los encargados respectivos del INSTITUTO NACIONAL DE HIGIENE Y MEDICINA TROPICAL " LEOPOLDO IZQUIETA PEREZ ", (que en adelante se denominará INHMT), desde el 12 de enero de 1997 hasta el 21 de enero del mismo año.

Como resultado de dichas discusiones, ambas partes han confirmado los puntos principales descritos en las hojas adjuntas.

Quito, enero 20 de 1997


Sr. Yutaka Sasaki
LIDBR
MISION DE ESTUDIO
DEL DISEÑO BASICO


Dr. Edmundo Flores Marín
DIRECTOR NACIONAL
DEL INHMT "LIP"


Dr. Marcelo Cruz Utreras
MINISTRO DE SALUD PUBLICA
REPUBLICA DEL ECUADOR

A P E N D I C E

1.- RESUMEN DEL INFORME BORRADOR

La República del Ecuador, verificó y dió el visto bueno al borrador del informe del Diseño Básico presentado por la Misión.

2.- ENTIDAD EJECUTORA

El Ministerio de Salud Pública de la República del Ecuador, será la Entidad Ejecutora de este Proyecto.

3.- EQUIPOS SOLICITADOS POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DEL ECUADOR .

Después de las discusiones sostenidas entre la Misión y el INHMT, las dos partes expresaron su acuerdo de que la provisión de los equipos señalados en el ANEXO 1, fuera finalmente solicitada por la República del Ecuador.

4.- SISTEMA DE COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DEL JAPON

1) El Gobierno de la República del Ecuador, aceptó la explicación hecha por la Misión, acerca del Sistema de Cooperación Financiera No Reembolsable. (ANEXO 2).

2) En caso de llevarse a efecto este Proyecto bajo el Sistema de Cooperación Financiera No Reembolsable del Gobierno del Japón, el Gobierno del Ecuador deberá cumplir con los requisitos señalados en el ANEXO 3.

5.- CRONOGRAMA DE ESTUDIO

Esta Misión enviará el Informe Final al Gobierno del Ecuador a fines de marzo de 1997.

6.- OTROS

En caso de realizarse la donación de los equipos a través del Sistema de Cooperación Financiera No Reembolsable del Gobierno de Japón, el INHMT se compromete a cumplir con los siguientes puntos:

- 1) Respecto a la producción de biológicos y su control de calidad, el INHMT se obliga a la producción de vacunas de calidad que cumplan todas las normas y especificaciones técnicas establecidas por la Oficina Sanitaria Panamericana de la Salud (PAHO), recibiendo la capacitación técnica y el apoyo de PAHO.
- 2) En caso de que el Gobierno de Japón autorice la donación de los equipos relacionados con la vacuna BCG y como consecuencia de esto surja la necesidad de remodelar el área, este gasto será cubierto por el Gobierno del Ecuador. La remodelación deberá estar lista antes del arribo de los equipos.
- 3) En cuanto a la remoción del elevador existente, los gastos correrán por cuenta del país receptor. Esta situación deberá estar resuelta antes de la llegada del nuevo elevador.
- 4) Para el uso y mantenimiento efectivo de los equipos donados, el INHMT asignará el presupuesto necesario para cubrir los gastos de operación y mantenimiento de los equipos en cada ejercicio fiscal (anual).

ANEXO 1.

1. ITEM	DESCRIPTION	Q'TY
1. ANATOMICAL PATHOLOGY		
# 1-1	Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
# 1-2	Dissecting microscope zoom	1
# 1-3	Rotary microtome	1
# 1-4	Cryostate (freezing microtome)	1
# 1-6	Animal dissection equipment	5
# 1-8	Interval timer	2
# 1-9	Refrigerator(Capacity.300L)	1
#1-10	Freezer. -40° C(Capacity 300L)	1
2. BACTERIOLOGY		
# 2-1	Microscope, light(OB.X 10, 20, 40, 100)	1
# 2-2	Dark field microscope	1
# 2-3	Colony counter	1
# 2-4	Interval timer	2
# 2-5	Vortex mixer	2
# 2-6	Micro pipettes,adjustable,max.50ul with tips	2
# 2-7	Micro pipettes,adjustable,max.100ul with "	2
# 2-8	Micro pipettes,adjustable,max.200ul with "	2
# 2-9	Micro pipettes,adjustable,max.1000ul with "	2
#2-10	Water bath	2
#2-11	Autoclave electric	1
#2-12	CO2 incubator	1
#2-13	Refrigerator(Capacity.300L)	1
3. BIOCHEMISTRY		
# 3-1	Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
# 3-2	Spectrophotometer , 190-990nm	1
# 3-3	pH meter,with spare electrodes	1
# 3-4	Magnetic stirrer,with bars	2
# 3-5	Interval timer	2
# 3-6	Vortex mixer	2
# 3-7	Micro pipettes,adjustable,max.50ul with tips	2
# 3-8	Micro pipettes,adjustable,max.100ul with "	2
# 3-9	Micro pipettes,adjustable,max.200ul with "	2
#3-10	Micro pipettes,adjustable,max.1000ul with "	2
#3-11	Water bath	1
#3-12	Pipette washer	2
#3-13	Autoclave,electric	1
#3-14	Hot air oven,electric	1
#3-15	Glass ware dryer	1
#3-16	Homogeneizer,cup and cutter sets,5-500ML	1
#3-17	Refrigerated centrifuge	1
#3-18	Centrifuge,table top	1
#3-19	Refrigerator(Capacity.300L)	2
#3-20	Freezer, -85° C	1
#3-21	Water destillator	1
#3-22	Chemical balance,max.300G	1
#3-23	Analytical balance max.100G	1
#3-24	Freeze dryer for laboratory use	1

#3-25 Computer	1
#3-26 Laboratory wagon	2
#3-27 Laboratory bench, for Balance	3
#3-29 Atomic absorption spectrophotometer	1

4. CHEMISTRY

# 4-1 Spectrophotometer , 190-990nm	1
# 4-2 Gas chromatograph, with NPD, FTD	1
# 4-3 Magnetic stirrer, with bars	1
# 4-4 Pipette washer	1
# 4-5 Glass ware dryer	1
# 4-6 Water destillator	1
# 4-7 Laboratory wagon	1
# 4-8 High performance liquid chromatography with detectors	1
# 4-9 Infrared spectrophotometer	1
# 4-10 Spectrodensitometer	1

6. CULTURE MEDIUM AND STERILIZATION

# 6-1 pH meter, with spare electrodes	1
# 6-2 Magnetic stirrer, with bars	1
# 6-3 Vortex mixer	2
# 6-4 Pipette washer	1
# 6-5 Refrigerator (Capacity. 500L)	1
# 6-6 Clean bench	1
# 6-7 Chemical balance, max. 300G	1
# 6-8 Balance, max. 1,000G	2
# 6-9 Hot air oven, electric	1
# 6-10 Autoclave	1

7. ELECTRONIC MICROSCOPY

# 7-1 Water destillator	1
# 7-2 Cooling water circulator, for E.M	2
# 7-3 Electron microscope, transmission	1
# 7-4 Electron microscope, scanning	1
# 7-5 Vacuum evaporator	1
# 7-6 Fine coat (ion sputer)	1
# 7-7 Critical point dryer	1
# 7-8 Dissecting microscope zoom	1
# 7-9 Ultramicrotome, with 2 diamond knife	1
# 7-10 Rotation microtome	1
# 7-11 Cryostate (freezing microtome)	1
# 7-13 Fume Hood	1

8. ENTOMOLOGY

# 8-1 Freezer, -85 °C	1
-----------------------	---

9. EXPERIMENTAL PATHOLOGY

# 9-1 Spectrophotometer , 190-990nm	1
# 9-2 Interval timer	2
# 9-3 Micro pipettes, adjustable, max. 50ul with tips	2
# 9-4 Micro pipettes, adjustable, max. 100ul with "	2

# 9-5 Micro pipettes, adjustable, max. 200ul with "	2
# 9-6 Micro pipettes, adjustable, max. 1000ul with "	2
# 9-7 Water bath	1
# 9-8 Pipette washer	1
# 9-9 Refrigerated centrifuge	1
#9-10 Refrigerator, Capacity 300L	1



10. IMMUNOCHEMISTRY

#10-1 Inverted microscope	1
#10-2 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
#10-3 Microphoto system	1
#10-4 Fluorescence microscope, with camera	1
#10-5 Electrophoresis system	1
#10-6 Densitometer, for electrophoresis	1
#10-7 Fraction collector, for column chromatography	1
#10-8 UV monitor, for column chromatography	1
#10-9 Peristaltic pump, for column chromatography	1
#10-10 pH meter, with spare electrodes	1
#10-11 Magnetic stirrer, with bars	1
#10-12 Interval timer	2
#10-13 Vortex mixer	2
#10-14 Micro pipettes, adjustable, max 50ul with tips	2
#10-15 Micro pipettes, adjustable, max. 100ul with "	2
#10-16 Micro pipettes, adjustable, max. 200ul with "	2
#10-17 Micro pipettes, adjustable, max. 1000ul with "	2
#10-18 Water bath	1
#10-19 Pipette washer	1
#10-20 Hot air oven, electric	1
#10-21 Homogenizer, cup and cutter sets, 5-500ML	1
#10-22 Co2 incubator	1
#10-23 Ultracentrifuge	1
#10-24 Refrigerator (Capacity. 300L)	1
#10-25 Freezer, -40 °C	2
#10-26 Freezer, -85 °C	1
#10-27 Water destillator	1
#10-28 Chemical balance, max. 300G	1
#10-29 Analytical balance max. 100G	1
#10-30 Freeze dryer for laboratory use	1
#10-31 PCR System	1
#10-32 Computer	1
#10-34 Ice maker	1
#10-35 ELISA System	1
#10-36 Refrigerated centrifuge	1
#10-37 Spectrophotometer, 190-990nm	1
#10-38 Safety cabinet	1
#10-40 Sonicator 10-30 KHz/Sec	1

11. IMMUNOLOGY

#11-1 Pipette washer	1
#11-2 Electrophoresis system	1
#11-3 Densitometer, for electrophoresis	1
#11-4 Fraction collector, for column chromatography	1

#11-5 UVmonitor, for column chromatography	1
#11-6 Peristaltic pump, for column chromatography	1
#11-7 Magnetic stirrer, with bars	1
#11-8 Vortex mixer	2
#11-9 Micro pipettes, adjustable, max 50ul with tips	2
#11-10 Micro pipettes, adjustable, max. 100ul with "	2
#11-11 Micro pipettes, adjustable, max. 200ul with "	2
#11-12 Micro pipettes, adjustable, max. 1000ul with "	2
#11-13 Refrigerator (Capacity. 300L)	1

12. LEPTOSPIROSIS

#12-1 Dark field microscope	1
#12-2 Dissecting microscope zoom	1
#12-4 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
#12-5 Microscope system	1
#12-6 Magnetic stirrer, with bars	1
#12-7 Interval timer	2
#12-8 Pipette washer	1
#12-9 Autoclave	1
#12-10 Refrigerator (Capacity. 300L)	1

13. LIBRARY

#13-1 Computer	1
#13-2 Copy machine	1

14. MICROLOGY

#14-1 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
#14-2 Interval timer	2
#14-3 Vortex mixer	2
#14-4 Centrifuge, table top	1
#14-5 Freezer. -40°C	1
#14-6 Safety cabinet	1

15. MISCELLANEOUS

#15-1 Air conditioner	13
#15-2 Water pump and motor	2
#15-3 Set of printing machine	1
#15-4 Electric power plant	1
#15-5 Steam boiler	1
#15-6 Air compressor	1
#15-7 Vehicle for carrying animal food	1
#15-8 Vehicle for transportation of vaccine	1
#15-10 Vehicle for carrying wastes	1
#15-11A Incinerator	1
#15-11B Incinerator	1

16. PARASITOLOGY

#16-1 Clean bench	1
#16-2 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
#16-3 Interval timer	2
#16-4 Vortex mixer	2
#16-5 Micro pipettes, adjustable, max 50ul with tips	2
#16-6 Micro pipettes, adjustable, max. 100ul with "	2
#16-7 Micro pipettes, adjustable, max. 200ul with "	2
#16-8 Micro pipettes, adjustable, max. 1000ul with "	2

18. SANITARY MICROBIOLOGY

#18-1 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	2
#18-2 Interval timer	2
#18-3 Pipette washer	1
#18-4 Hot air oven, electric	1
#18-5 Freezer, -40° C	1
#18-6 Laboratory wagon	2

19. SANITARY WATER

#19-1 Interval timer	2
#19-2 Pipette washer	1
#19-3 Glass ware dryer	1

20. SEROLOGY

#20-1 Fluorescence microscope, with camera	1
#20-2 Magnetic stirrer, with bars	1
#20-3 Interval timer	2
#20-4 Vortex mixer	2
#20-5 Micro pipettes, adjustable, max 50ul with tips	2
#20-6 Micro pipettes, adjustable, max. 100ul with "	2
#20-7 Micro pipettes, adjustable, max. 200ul with "	2
#20-8 Micro pipettes, adjustable, max. 1000ul with "	2
#20-9 Pipette washer	1
#20-10 Autoclave	1
#20-11 Hot air oven, electric	1
#20-12 Centrifuge, table top	1
#20-13 Refrigerator (Capacity 300L)	1
#20-14 Water distillator	1
#20-15 Laboratory wagon	1
#20-16 Laboratory bench, 90 X 60 X 70cm	2
#20-18 ELISA System	1

21. TOXICOLOGY

#21-2 Fume hood with perchloric acid protector	1
--	---

22. TUBERCULOSIS

#22-1 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
#22-2 Freezer, -40°C	1
#22-3 Computer	1
#22-4 Fluorescence microscope, with camera	1
#22-5 Centrifuge, table top	2
#22-6 Vortex mixer	2
#22-7 Safety cabinet	1
#22-8 Incubator room, walk in type	1

23. VAC. BCG

#23-1 Freeze dryer	1
#23-2 Ampoule sealing machine	1
#23-3 Automatic washing machine for vial and amp	1
#23-4 Automatic labelling machine for ampoule	1
#23-5 Autoclave (large size) with Cart	1
#23-6 Clean bench	1

24. VAC. DIPHTHERIA

#24-1 Refrigerated centrifuge (+2°C- +8°C)	1
#24-2 Autoclave (large size) with cart	1
#24-4 Vaccum pressure pump	1
#24-5 Safety Cabinet	1
#24-6 Freeze dryer	1

25. VAC. PERTUSSIS

#25-1A Vial filling machine	1
#25-1B Vial sealing machine	1
#25-2 Automatic labelling machine for vial	1
#25-3 Refrigerated centrifuge	1
#25-4 Autoclave (large size) with cart	1
#25-5 Mixing tank (50L)	1

26. VAC. RABIES

#26-1 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
#26-2 pH meter, with spare electrodes	1
#26-3 Magnetic stirrer, with bars	1
#26-4 Interval timer	2
#26-5 Vortex mixer	2
#26-6 Water bath	1
#26-7 Freezer, -85°C	1
#26-8 Refrigerated centrifuge	1
#26-9 Autoclave (medium size) with cart	1

27. VAC. TETANUS

#27-1 Refrigerated centrifuge	1
#27-2A Autoclave (large size) with cart	1
#27-2B Autoclave (medium size) with cart	1
#27-3 Vaccum pressure pump	1
#27-4 Ice maker	1

28. VACCINE PRODUCTION GE..

#28-1 Serum coagulator,5000test tubes	1
#28-2 Omni mixer homogenizer (5-1800ML)	1
#28-3 UV lamp set with lamp(10)	20
#28-4A Clean booth	1
#28-4B Clean bench	3
#28-5 Chemical balance,max.300G	1
#28-6 Balance,max.1,000G	2
#28-7 Laboratory wagon	2
#28-8 Laboratory bench, 90 X 60 X 70cm	2
#28-10 Water purification system	1
#28-18 Lift for carrying vaccine	1
#28-20 Refrigerate Apparatus for Refrigerator Room	1

Handwritten signature

29. VIROLOGY

#29-1 Microscope, light (OB. X 10, 20, 40, 100)	1
#29-2 Fluorescence microscope,with camera	1
#29-3 Vortex mixer	2
#29-4 Micro pipettes,adjustable,max50ul with tips	2
#29-5 Micro pipettes,adjustable,max.100ul with "	2
#29-6 Micro pipettes,adjustable,max.200ul with "	2
#29-7 Micro pipettes,adjustable,max.1000ul with"	2
#29-8 Pipette washer	1
#29-9 Autoclave (large size)with Cart	1
#29-10Hot air oven,electric	1
#29-11A Freezer,-40°C	1
#29-11B Freezer,-85°C	1
#29-12 Safety cabinet	2
#29-13 Laboratory wagon	2
#29-14 Laboratory bench, 90 X 60 X 70cm	2

32 BIOLOGICAL PRODUCTS CONTROL

#32-1 Clean bench	1
#32-2 Electric incubator	1

34 NATIONAL CONTROL OF BIOLOGICAL AND INMUNIZING PRODUCTS.

#34-1 Clean bench	1
#34-2 Liquid nitrogen equipment (tank)	1
#34-3 Pressure-vaccum pump. (0-30 psi)	1
#34-4 Ice maker	1
#34-5 Autoclave	1
#34-6 Refrigerated centrifuge	1
#34-7 Vaccum freeze dryer(-105°C)	1

ANEXO 2.

SISTEMA DE LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DEL JAPON

1.- EL PROCEDIMIENTO DE LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE DEL JAPON ES EL SIGUIENTE:

En la primera etapa, el Gobierno del Japón (el Ministerio de Relaciones Exteriores) estudia la solicitud formulada por el país receptor para obtener un Proyecto de Cooperación Financiera No Reembolsable.

Si se confirma que la solicitud tiene alta prioridad y cumple con las exigencias de un Proyecto de Cooperación Financiera No Reembolsable, el Gobierno del Japón ordena a JICA efectuar el Estudio.

Luego viene la segunda etapa que se refiere al Estudio del Diseño Básico; JICA realiza este estudio contratando para el efecto una compañía consultora japonesa.

La tercera etapa se refiere a la Evaluación y Aprobación. En base al informe del Diseño Básico elaborado por JICA en la segunda etapa, el Gobierno del Japón evalúa y confirma que el Proyecto es apropiado para la Cooperación Financiera No Reembolsable y envía el Informe al Gabinete para su aprobación.

La cuarta etapa corresponde a la decisión de realización del Proyecto. Una vez aprobado el Proyecto por el Gabinete, se firma el canje de Notas por los Representantes del Gobierno del Japón y del Gobierno del Ecuador.

Formalizado el Proyecto, se procederá a la realización del mismo.


En la ejecución de la Donación JICA colaborará con el país beneficiario para la licitación, el contrato y otros.

2.- ESTUDIO DEL DISEÑO BASICO

1) CONTENIDO DEL ESTUDIO

El estudio del Diseño Básico conducido por JICA está destinado a proporcionar el documento básico necesario para que el Gobierno del Japón evalúe si el Proyecto es o no viable para el sistema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón. El contenido incluye:

18.

- 
- a) La confirmación de los antecedentes, el objetivo, la eficiencia del Proyecto y la capacidad de la organización responsable para la administración y mantenimiento del mismo;
 - b) El examen de la viabilidad técnica y socio-económica;
 - c) La confirmación del Plan Optimo del Proyecto a través de la mutua deliberación con el país receptor.

La preparación del Diseño Básico del Proyecto y la estimación del costo

El contenido del Proyecto arriba mencionado no coincide totalmente con la solicitud original, se lo ha modificado a fin de aplicarlo dentro del contexto de un esquema de Cooperación Financiera No Reembolsable.

Al realizar el Proyecto bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable, el Gobierno del Japón desea que el Gobierno del país receptor tome todas las medidas necesarias para promover su autosuficiencia. Esas medidas deberán asegurarse aunque estén fuera de la jurisdicción de la entidad beneficiaria del Proyecto.

Por lo tanto, la ejecución del Proyecto será confirmada por todas las organizaciones involucradas en el país receptor mediante las Minutas de Discusiones.

2) SELECCION DE LA COMPANIA CONSULTORA

Al realizar el Estudio, JICA mediante una licitación selecciona una de las compañías entre aquellas que se encuentran registradas en sus oficinas y que hayan presentado sus propuestas. La compañía seleccionada realiza el Estudio del Diseño Básico y elabora el Informe bajo la supervisión de JICA.

Después de la firma del Canje de Notas, con el fin de asegurar coherencia técnica entre el Diseño Básico y el Diseño Detallado, y tomando en cuenta que no hay tiempo suficiente para seleccionar una nueva compañía consultora, JICA recomienda al Gobierno del país receptor emplear la misma compañía consultora que realizó el Diseño Básico para que efectúe el Diseño Detallado y la supervisión de la realización del Proyecto.

3.- ESQUEMA DE LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE

1) COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE

La Cooperación Financiera No Reembolsable consiste en la donación de fondos que no requieren la obligación de reembolso por parte de los países receptores y permiten a través del fondo adquirir equipos, materiales y los servicios (técnicos, transportes, etc) necesarios para el desarrollo económico y social de los países receptores bajo las normas vigentes y leyes relacionadas del Japón. La Cooperación no se extiende a donaciones en especie.

2) FIRMA DE CANJE DE NOTAS

En la realización de la Cooperación Financiera No Reembolsable, se necesita el acuerdo y la firma del Canje de Notas (C/N) entre ambos Gobiernos. En el C/N se aclara el objetivo, el período efectivo de la donación, las condiciones en que se realiza y el límite del monto de la donación.

3) PERIODO DE EJECUCION

El período efectivo de la donación debe ser dentro del mismo año fiscal del Japón (del 1 de abril hasta el 31 de marzo del siguiente año) en el que el Gabinete aprueba la cooperación. Durante este período debe concluirse todo el proceso, desde la firma del C/N hasta el contrato con la compañía consultora o constructora, incluyendo el pago final.

Sin embargo, en el caso de un retraso en el transporte, instalación o construcción por situaciones climáticas u otros, existe la posibilidad de prolongar la Cooperación máximo por un año (un año fiscal) previa consulta entre ambos Gobiernos.

4) ADQUISICION DE LOS PRODUCTOS Y SERVICIOS

La Cooperación Financiera No Reembolsable será utilizada apropiadamente por el Gobierno del país receptor para la adquisición de los productos japoneses o del país receptor y de los servicios de nacionales japoneses y nacionales del país receptor necesarios para la ejecución del Proyecto: (El término " nacionales japoneses " significa personas físicas o jurídicas japonesas, controladas por personas físicas japonesas).

No obstante lo arriba señalado, cuando los dos Gobiernos lo estimen conveniente, la Cooperación Financiera No Reembolsable podrá ser utilizada para la adquisición de productos de terceros países (excepto Japón y el país receptor) o para la contratación de servicios de transporte que no sean de nacionales japoneses ni de nacionales del país receptor.

Sin embargo considerando el esquema de la donación del Japón, los contratistas principales para la ejecución del Proyecto como consultores, constructores y proveedores deberán ser nacionales japoneses.

5) NECESIDAD DE APROBACION

El Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él, concertará contratos en yenes japoneses, con nacionales japoneses. A fin de que, tales contratos sean aceptados deberán ser verificados por el Gobierno del Japón. Esta verificación se debe a que el fondo de donación proviene de los impuestos generados por los ciudadanos japoneses.

6) RESPONSABILIDAD DEL GOBIERNO RECEPTOR

El Gobierno del país receptor tomará las siguientes medidas:

- (1) Asegurar la adquisición y preparación del terreno, para la ubicación del Proyecto, así como realizar la limpieza y nivelación del terreno previo el inicio de los trabajos de construcción, si fuera el caso.
- (2) Proveer de las instalaciones necesarias para la distribución de electricidad, suministro de agua, alcantarillado y otras adicionales.
- (3) Proporcionar los edificios y los espacios necesarios en caso de que el Proyecto incluya la provisión de equipos.
- (4) Asegurar todos los gastos y la pronta ejecución del desembarco y despacho aduanero en el país receptor y el transporte interno de los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable.

(5) Eximir del pago de derechos aduaneros, impuestos internos y otras cargas fiscales que se impongan a los nacionales japoneses en el país receptor por concepto del suministro de los productos y de los servicios especificados en los Contratos Verificados.

(6) Otorgar a los nacionales japoneses, cuyos servicios sean requeridos en relación con el suministro de los productos y de los servicios establecidos en los Contratos Verificados, las facilidades necesarias para su ingreso, estadía y para el desempeño de sus funciones en el país receptor.

(7) USO ADECUADO

El país receptor deberá asegurar que las instalaciones construidas y los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable sean debida y efectivamente utilizados y mantenidos, asignando el personal necesario para la ejecución del Proyecto.

Deberán también sufragar otros gastos necesarios, a excepción de aquellos a ser cubiertos por la Donación.

(8) REEXPORTACION

Los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable no deberán ser reexportados por el país receptor.

(9) ARREGLO BANCARIO

a) El Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él, deberá abrir una cuenta bancaria a nombre del Gobierno del país receptor en un banco autorizado para el cambio de moneda extranjera en el Japón (en adelante referido como el banco). El Gobierno del Japón llevará a cabo la Cooperación Financiera No Reembolsable efectuando pagos en yenes japoneses para cubrir las obligaciones contraídas por el Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él, bajo los Contratos Verificados.

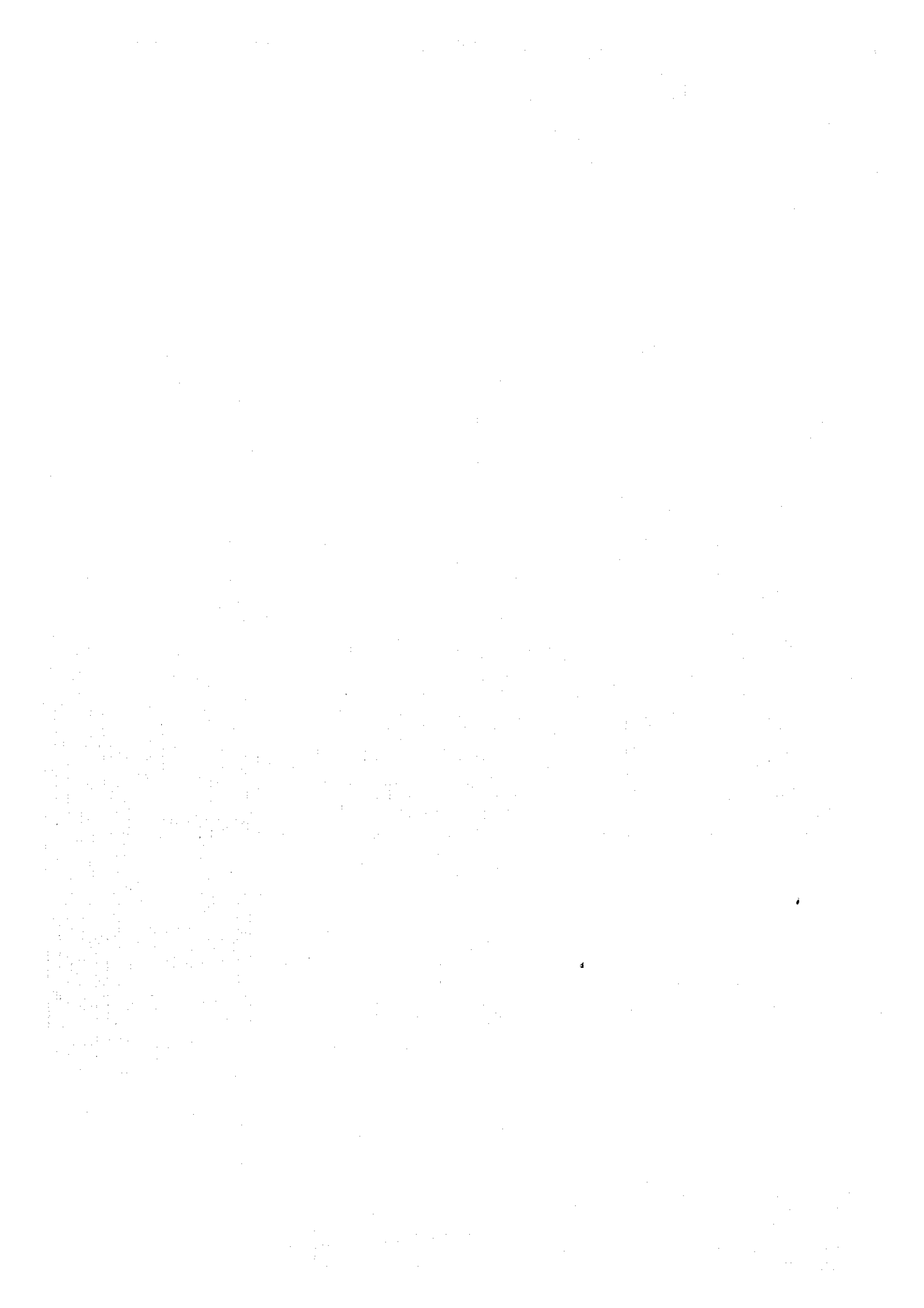
b) Los pagos por parte del Japón se efectuarán cuando las solicitudes de pago sean presentadas por el Banco al Gobierno del Japón en virtud de una autorización de pago (A/P) expedida por el Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él.

ANEXO 3

MEDIDAS NECESARIAS A TOMARSE POR PARTE DEL ECUADOR EN CASO DE QUE LA COOPERACION FINANCIERA NO REEMBOLSABLE SEA EXTENDIDA AL PROYECTO.

- 1.- Proveer los datos e información necesaria para la implementación del proyecto.
- 2.- Facilitar a los expertos japoneses una área dentro del Instituto como oficina temporal para los mismos mientras se realiza la implementación del Proyecto.
- 3.- Preparar la infraestructura para el Proyecto (electricidad, agua, alcantarillado y otros) antes de la instalación de los equipos, desmontar y remover otros del sitio si fuera necesario.
- 4.- Asegurar el rápido despacho aduanero de los productos del Proyecto en el puesto de desembarque en el Ecuador.
- 5.- Exonerar a los ciudadanos japoneses encargados de los trabajos del suministro de los materiales, equipos médicos, etc, según los Contratos Verificados, de todos los impuestos internos (incluyendo los municipales y provinciales) así como del impuesto de valor agregado (IVA) y de otras recaudaciones que se graven en el Ecuador.
- 6.- Otorgar a los ciudadanos japoneses, cuyos servicios sean requeridos en relación con el suministro de los materiales, equipos médicos y servicios señalados en los Contratos Verificados, todas las facilidades que sean necesarias para su ingreso al Ecuador y su permanencia en el país durante el tiempo requerido para el trabajo.
- 7.- Pagar las comisiones al banco de cambio extranjero autorizado en el Japón para las operaciones estipuladas en el Acuerdo Bancario (A/B).
- 8.- Asegurar el presupuesto necesario para garantizar la instalación, operación adecuada, control y el mantenimiento de los equipos médicos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable.
- 9.- Utilizar y mantener adecuada y eficazmente todos los equipos médicos e instalaciones adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable.
- 10.- Pagar todos los gastos que origine el Proyecto y que no estén contemplados dentro de la Cooperación Financiera No Reembolsable que el Japón cubre.

6. 参考資料リスト



6 参考資料リスト

- | | | |
|----|--|--|
| 1 | USAID ECUADOR
50 ANOS DE COOPERACION | 発行機関 : USAID
発行年月 : Nov.1992
内容要旨 : USAIDの「エ」国における事業内容 |
| 2 | HEALTH STATISTICS FORM THE AMERICAS | 発行機関 : PAHO
発行年月 : 1995
内容要旨 : 保健医療指標 |
| 3 | HEALTH CONDITIONS IN THE AMERICAS
VOLUME 1 | 発行機関 : PAHO
発行年月 : 1994
内容要旨 : 保健医療状況 |
| 4 | HEALTH CONDITIONS IN THE AMERICAS
VOLUME 2 | 発行機関 : PAHO
発行年月 : 1994
内容要旨 : 保健医療状況 |
| 5 | ENDEMAIN-94 | 発行機関 : USAID
発行年月 : 1994
内容要旨 : 保健医療状況 |
| 6 | 世界開発計画 1995 | 発行機関 : 世銀
発行年月 : 1995
内容要旨 : 一般及び経済統計 |
| 7 | 世界開発計画 1996 | 発行機関 : 世銀
発行年月 : 1996
内容要旨 : 一般及び経済統計 |
| 8 | 経済成長と人間開発 | 発行機関 : 国連開発計画
発行年月 : 1996
内容要旨 : 一般統計資料 |
| 9 | 国民衛生の動向 | 発行機関 : 厚生省
発行年月 : 1995
内容要旨 : 日本の保健医療統計資料 |
| 10 | 世界子供白書 | 発行機関 : UNICEF
発行年月 : 1996
内容要旨 : 保健医療統計指標 |
| 11 | WHO TRS 638
(ANNEX 2 REVISED REQUIREMENTS FOR
DRIED BCG VACCINE) | 発行機関 : WHO
発行年月 : 1979
内容要旨 : BCGワクチンの取扱について |
| 12 | MMWR
Morbidity and Mortality Weekly Report Vol.45 | 発行機関 : CDC Atlanta
発行年月 : Dec.1996
内容要旨 : ワクチン事情 |

- | | | |
|---|----------------------|--|
| 13 Weekly Epidemiological Record Releve
Epidemiologique Hebdomadaire | 発行機関
発行年月
内容要旨 | : WHO
: 1996
: ワクチン事情 |
| 14 DEVELOPMENT BUSINESS 436,438,440 | 発行機関
発行年月
内容要旨 | : 世銀
: 1996
: 世銀の事業月刊誌 |
| 15 VACCINE | 発行機関
発行年月
内容要旨 | : ELSEVIER
: Nov.1996
: ワクチン事情 |
| 16 PLAN DE ACCION INMEDIATEE (RESUMEN) | 発行機関
発行年月
内容要旨 | : 「エ」政府
: Dic.1996
: 「エ」国の政策 |
| 17 注射用水の製造に関するバリデーション | 発行機関
発行年月
内容要旨 | : 厚生省薬務局監視指導課
: 11.1988
: 注射用水の品質管理・製造管理資料 |
| 18 ワクチンハンドブック | 発行機関
発行年月
内容要旨 | : 国立予防衛生研究所学友会
: 1993
: ワクチンについての概要書 |

JICA